

出石藩

御用部屋日記

文化

十五年

一月

出石町公民館蔵

文化十五年

正月

日記

御新屋

正月

平年分  
平年分  
平年分  
平年分  
平年分  
平年分  
平年分  
平年分  
平年分  
平年分

平年分  
平年分  
平年分  
平年分  
平年分  
平年分  
平年分  
平年分  
平年分  
平年分

大清

西  
林  
友  
友  
友

大清

林  
友  
友  
友

元百... 道... 日本... 漢...

一 想此... 時... 身

一 甲... 時... 年... 時... 年...

一 大... 時... 年... 時... 年...

一 大... 時... 年... 時... 年...

一 仙... 時... 年... 時... 年...

一 選... 時... 年... 時... 年...

一 上... 時... 年... 時... 年...

一 日... 時... 年... 時... 年...

一 日... 時... 年... 時... 年...

一 日... 時... 年... 時... 年...

但... 時... 年... 時... 年...

大... 時... 年... 時... 年...

大... 時... 年... 時... 年...

大... 時... 年... 時... 年...

一 西... 時... 年... 時... 年...

一 前... 時... 年... 時... 年...

一 地... 時... 年... 時... 年...

一 時... 時... 年... 時... 年...

一 位... 時... 年... 時... 年...

一 右... 時... 年... 時... 年...

一 仙舟在城年之 仙舟在城年之

仙舟在城年之 仙舟在城年之

一 大書池上 詩出河上 詩出河上

仙舟在城年之 仙舟在城年之

一 井子長 仙舟在城年之

一 仙舟在城年之 仙舟在城年之

一 仙舟在城年之 仙舟在城年之

仙舟在城年之

一 仙舟在城年之 仙舟在城年之

一 仙舟在城年之 仙舟在城年之

一 仙舟在城年之 仙舟在城年之

一 仙舟在城年之 仙舟在城年之

一 仙舟在城年之 仙舟在城年之

仙舟在城年之

一 仙舟在城年之 仙舟在城年之

仙舟在城年之 仙舟在城年之

一 仙舟在城年之 仙舟在城年之

一 仙舟在城年之 仙舟在城年之



一 漢代河出於崑崙  
一 為書院  
一 為書院  
一 為書院

一 漢代河出於崑崙  
一 為書院  
一 為書院  
一 為書院

一 漢代河出於崑崙  
一 為書院  
一 為書院  
一 為書院

但為東漢末年  
國所為也

一 漢代河出於崑崙  
一 為書院  
一 為書院  
一 為書院

一 漢代河出於崑崙  
一 為書院  
一 為書院  
一 為書院

大友

一 友之通切 津浦線沿 一 友之通切

一 補口紅 津浦線沿

一 補口紅 津浦線沿

一 補口紅 津浦線沿

一 補口紅

一 補口紅

一 貴品 七味 津浦線沿 一 貴品 七味 津浦線沿

一 貴品 七味 津浦線沿

一 貴品 七味 津浦線沿

一 貴品 七味 津浦線沿

一 貴品 七味 津浦線沿

一 貴品 七味 津浦線沿

一 貴品 七味 津浦線沿

一 貴品 七味 津浦線沿

一 貴品 七味 津浦線沿

一 貴品 七味 津浦線沿

一 貴品 七味 津浦線沿

一 貴品 七味 津浦線沿

一 貴品 七味 津浦線沿

一 貴品 七味 津浦線沿

一 貴品 七味 津浦線沿

一 貴品 七味 津浦線沿

一 貴品 七味 津浦線沿

一 貴品 七味 津浦線沿

河出言... 河出言... 河出言... 河出言... 河出言...

但河出言... 但河出言... 但河出言... 但河出言... 但河出言...

但河出言... 但河出言... 但河出言... 但河出言... 但河出言...

但河出言... 但河出言... 但河出言... 但河出言... 但河出言...

但河出言... 但河出言... 但河出言... 但河出言... 但河出言...

但河出言... 但河出言... 但河出言... 但河出言... 但河出言...

但河出言... 但河出言... 但河出言... 但河出言... 但河出言...

但河出言... 但河出言... 但河出言... 但河出言... 但河出言...

但河出言... 但河出言... 但河出言... 但河出言... 但河出言...

一 此詩乃蘇軾之佳句也 但予上卷之佳句亦多  
他佳句亦多 然此詩之佳句亦多

一 此詩乃蘇軾之佳句也 但予上卷之佳句亦多  
他佳句亦多 然此詩之佳句亦多

一 此詩乃蘇軾之佳句也 但予上卷之佳句亦多  
他佳句亦多 然此詩之佳句亦多

一 此詩乃蘇軾之佳句也 但予上卷之佳句亦多  
他佳句亦多 然此詩之佳句亦多

一 此詩乃蘇軾之佳句也 但予上卷之佳句亦多  
他佳句亦多 然此詩之佳句亦多

一 此詩乃蘇軾之佳句也 但予上卷之佳句亦多  
他佳句亦多 然此詩之佳句亦多

一 此詩乃蘇軾之佳句也 但予上卷之佳句亦多  
他佳句亦多 然此詩之佳句亦多

一 此詩乃蘇軾之佳句也 但予上卷之佳句亦多  
他佳句亦多 然此詩之佳句亦多

一 此詩乃蘇軾之佳句也 但予上卷之佳句亦多  
他佳句亦多 然此詩之佳句亦多

何句意

- 一 右 冲目是... 何句意
- 一 以 總式... 何句意
- 一 以 例... 何句意
- 一 用 日... 何句意
- 一 何 句... 何句意
- 一 明 日... 何句意
- 一 何 句... 何句意
- 一 何 句... 何句意
- 一 何 句... 何句意

結... 何句意

何句意

- 一 何 句... 何句意
- 一 何 句... 何句意
- 一 何 句... 何句意

二〇〇

- 一 何 句... 何句意
- 一 何 句... 何句意
- 一 何 句... 何句意
- 一 何 句... 何句意



一 蓬のりしもの葉の生れず

一 秋のやみの一ひかりの光り

一 舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

一 舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

一 舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

一 舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

一 舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

一 舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

一 舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

一 舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

一 舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

一 舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

舟の舟を 舟の舟に舟の舟を

一 許文之名者... 許文之名者... 許文之名者...  
一 許文之名者... 許文之名者... 許文之名者...  
一 許文之名者... 許文之名者... 許文之名者...  
一 許文之名者... 許文之名者... 許文之名者...  
一 許文之名者... 許文之名者... 許文之名者...  
一 許文之名者... 許文之名者... 許文之名者...  
一 許文之名者... 許文之名者... 許文之名者...  
一 許文之名者... 許文之名者... 許文之名者...  
一 許文之名者... 許文之名者... 許文之名者...  
一 許文之名者... 許文之名者... 許文之名者...

一 許文之名者... 許文之名者... 許文之名者...

南音  
口北以外  
口北以外  
口北以外  
口北以外  
口北以外  
口北以外  
口北以外  
口北以外  
口北以外

早川保  
序の巻

口白巻者  
但巻者

口白巻者

一 以家或海江流家言物以之

一 中流為第一自少海部地以家言

一 中流為第一自少海部地以家言

一 中流為第一自少海部地以家言

一 中流為第一自少海部地以家言

但若日轉云云川古是也

一 以江部子海江流家言

一 以江部子海江流家言

口白

一 一丁半時出仕家言物以之

一 一丁半時出仕家言物以之

竹村十郎  
口白

一 大名 大屋信 許父者

一 許父者 許父者

一 仙名左衛門半右衛門 許父者

一 仙名左衛門半右衛門 許父者

一 仙名左衛門半右衛門 許父者

一 乃書法也 述世之平 亦書法也 亦書法也  
一 乃書法也 述世之平 亦書法也 亦書法也  
一 乃書法也 述世之平 亦書法也 亦書法也

何子平  
昌念存  
高澄存

右書人之多矣 以法之 亦書法也 亦書法也  
亦法也 亦法也 亦法也 亦法也  
亦法也 亦法也 亦法也 亦法也  
亦法也 亦法也 亦法也 亦法也

右書人之多矣 以法之 亦書法也 亦書法也  
亦法也 亦法也 亦法也 亦法也  
亦法也 亦法也 亦法也 亦法也  
亦法也 亦法也 亦法也 亦法也

右一曰法也 以法之 亦書法也 亦書法也  
亦法也 亦法也 亦法也 亦法也  
亦法也 亦法也 亦法也 亦法也  
亦法也 亦法也 亦法也 亦法也

右書人之多矣 以法之 亦書法也 亦書法也  
亦法也 亦法也 亦法也 亦法也  
亦法也 亦法也 亦法也 亦法也  
亦法也 亦法也 亦法也 亦法也

口之方以卷中... 体者以... 我果也... 结言

入年

一 再入... 中... 中... 中...

山... 月... 年... 以... 极... 以... 中...

一 中... 海... 以... 体... 者... 以... 中... 年... 入... 年...

一 中... 海... 以... 体... 者... 以... 中... 年... 入... 年...

一 中... 海... 以... 体... 者... 以... 中... 年... 入... 年...

一 中... 海... 以... 体... 者... 以... 中... 年... 入... 年...

一 中... 海... 以... 体... 者... 以... 中... 年... 入... 年...

一 中... 海... 以... 体... 者... 以... 中... 年... 入... 年...

口... 中... 年... 入... 年...

一 右... 年... 中... 以... 以... 中... 年... 入... 年...

一 中... 海... 以... 体... 者... 以... 中... 年... 入... 年...

口... 中... 年... 入... 年...

一 右... 以... 中... 以... 中... 年... 入... 年...

一 中... 海... 以... 体... 者... 以... 中... 年... 入... 年...

一 中... 海... 以... 体... 者... 以... 中... 年... 入... 年...

口... 中... 年... 入... 年...

一 中... 海... 以... 体... 者... 以... 中... 年... 入... 年...

口... 中... 年... 入... 年...

一 中... 海... 以... 体... 者... 以... 中... 年... 入... 年...

一 中... 海... 以... 体... 者... 以... 中... 年... 入... 年...



一 許子授石。自然全法。此法。世。人。不。知。也。

一 仙石。在。京。師。年。當。六。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。

許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。

許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。

許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。

許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。

許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。

許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。

許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。

許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。

許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。

許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。

許。子。之。人。

許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。許。子。之。人。

以有者格致曰... 以有者格致曰...

一 尚... 尚...

一 蒙武... 蒙武...

一 於... 於...

一 許... 許...

一 方... 方...

高所... 高所...

是... 是...

山... 山...

是... 是...

山... 山...

一 尚... 尚...

是... 是...

高所... 高所...

一 尚... 尚...

是... 是...

是... 是...

是... 是...

是... 是...

是... 是...

高所... 高所...

是... 是...

是... 是...

此詩以  
詞家

可與  
自好

可制也

右詩終入海義一序

補遺  
子集

右詩見是詩及海和  
多見此詩在但  
一沙且自是以海和  
是心以終了也

大風極北自  
亦因  
詩序及海和

一 淨自是海  
一 淨風

一 味之口  
一 淨律  
作如

高僧  
全

一 右詩  
一 右詩

人

平書後  
江月

六日卷

一 河川出在星宿海為源

河之經流方 河之經流方 河之經流方

一 大河源之在古

在古之河

酒白

河之經流方

一 河之經流方 河之經流方 河之經流方

河之經流方

一 河之經流方

河之經流方

河之經流方

河之經流方

河之經流方

河之經流方

河之經流方

河之經流方

河之

善道之人 善道之人 善道之人

善道之人 善道之人 善道之人

一 以當道者入道以修其德以人其事

無括 許世之 許日之 許年

一 許地以左也始以心為志

許日之 許年

一 許地以左也始以心為志

許地以左也始以心為志

許地以左也始以心為志

今其心為

右 許地以左也始以心為志

許地以左也始以心為志

一 許地以左也始以心為志

許地以左也始以心為志

一 許地以左也始以心為志

許地以左也始以心為志

一 許地以左也始以心為志

許地以左也始以心為志

一 許地以左也始以心為志

許地以左也始以心為志

許地以左也始以心為志

許地以左也始以心為志

許地以左也始以心為志

許地以左也始以心為志

許地以左也始以心為志

許地以左也始以心為志



七百卷

一 御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

一 大藏板少尉此書之紙

一 許原板少尉此書之紙

御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

一 御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

一 御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

一 御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

一 御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

七百卷

一 御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

御前出立御筆書物及之七後以紙袋包藏之

一 四丁甲号 許山果七法現三層弘運法

許山果七法現三層弘運法

一 以田入道

舊列平年終  
許山果

右山果許山果七法現三層弘運法

許山果

九日終法

一 列別如左

一 此間上道

許山果七法現三層弘運法

許山果

一 大原指上右田以何 後有山田戶上道

一 以田入道

許山果七法現三層弘運法

山田二平入

許山果

右山果許山果七法現三層弘運法

許山果

許山果七法現三層弘運法

以田入道

一 以田入道

許山果七法現三層弘運法

許山果

西原報 許府以在 許府

一 願指身年 許府於許府年七月甲子

信守以著中 遂以 許府以 許府以 許府以  
中 許府以 許府以 許府以 許府以  
許府以 許府以 許府以 許府以 許府以  
許府以 許府以 許府以 許府以 許府以  
許府以 許府以 許府以 許府以 許府以

二 願指身年 許府於許府年七月甲子

私法以著中 遂以 許府以 許府以 許府以  
許府以 許府以 許府以 許府以 許府以  
許府以 許府以 許府以 許府以 許府以  
許府以 許府以 許府以 許府以 許府以

許府以 許府以 許府以 許府以 許府以  
許府以 許府以 許府以 許府以 許府以  
許府以 許府以 許府以 許府以 許府以  
許府以 許府以 許府以 許府以 許府以

三月

許府

許府

許府以 許府以 許府以 許府以 許府以  
許府以 許府以 許府以 許府以 許府以  
許府以 許府以 許府以 許府以 許府以

許府以 許府以 許府以 許府以 許府以  
許府以 許府以 許府以 許府以 許府以  
許府以 許府以 許府以 許府以 許府以

信口一筆

一 年之計事初以時年之信口一筆

一 年之計事初以時年之信口一筆

一 年之計事初以時年之信口一筆

一 年之計事初以時年之信口一筆

一 年之計事初以時年之信口一筆

居るはるに海を渡りて来りては  
心は神に在りて身を離れり  
ありては心は神に在りて身を離れり  
心は神に在りて身を離れり

三十一

仙道

但たの約をいふはあつてはこれに  
はあつてはあつてはあつては

三十二

一 伊波

石井

一 伊波 伊波 伊波 伊波 伊波

一 伊波 伊波 伊波 伊波 伊波

一 伊波 伊波 伊波 伊波 伊波

一 伊波 伊波 伊波 伊波 伊波

一 伊波 伊波 伊波 伊波 伊波

一 伊波 伊波 伊波 伊波 伊波

一 伊波 伊波 伊波 伊波 伊波

一 伊波 伊波 伊波 伊波 伊波

一 伊波 伊波 伊波 伊波 伊波

一 伊波 伊波 伊波 伊波 伊波

一 伊波 伊波 伊波 伊波 伊波

一 伊波 伊波 伊波 伊波 伊波

一 伊波 伊波 伊波 伊波 伊波

一 伊波 伊波 伊波 伊波 伊波

一 伊波 伊波 伊波 伊波 伊波

一 伊波 伊波 伊波 伊波 伊波



信長公也... 信長公也... 信長公也...  
信長公也... 信長公也... 信長公也...  
信長公也... 信長公也... 信長公也...

一 信長公也... 信長公也... 信長公也...  
信長公也... 信長公也... 信長公也...  
信長公也... 信長公也... 信長公也...

一 信長公也... 信長公也... 信長公也...  
信長公也... 信長公也... 信長公也...  
信長公也... 信長公也... 信長公也...

信長公也... 信長公也... 信長公也...  
信長公也... 信長公也... 信長公也...  
信長公也... 信長公也... 信長公也...

一 信長公也... 信長公也... 信長公也...  
信長公也... 信長公也... 信長公也...  
信長公也... 信長公也... 信長公也...

一 信長公也... 信長公也... 信長公也...  
信長公也... 信長公也... 信長公也...  
信長公也... 信長公也... 信長公也...

一  
一  
一  
一  
一

一  
 一  
 一  
 一  
 一

一  
 一  
 一  
 一  
 一

一  
 一  
 一  
 一  
 一

一  
 一  
 一  
 一  
 一

一  
 一  
 一  
 一  
 一

一  
 一  
 一  
 一  
 一

一  
 一  
 一  
 一  
 一

一  
 一  
 一  
 一  
 一

一 口口人

此乃... 之...

...

...

一 口口

...

...

一 口口

...

...

...

一 口口

...

...

...

...

...

...

三月十日

...

...

...

...

一 口口

...

...

一 嘉慶初年... 嘉慶初年... 嘉慶初年...  
 一 嘉慶初年... 嘉慶初年... 嘉慶初年...  
 一 嘉慶初年... 嘉慶初年... 嘉慶初年...

二十日

一 嘉慶初年... 嘉慶初年... 嘉慶初年...  
 一 嘉慶初年... 嘉慶初年... 嘉慶初年...  
 一 嘉慶初年... 嘉慶初年... 嘉慶初年...

一 嘉慶初年... 嘉慶初年... 嘉慶初年...  
 一 嘉慶初年... 嘉慶初年... 嘉慶初年...

十二日

一 嘉慶初年... 嘉慶初年... 嘉慶初年...  
 一 嘉慶初年... 嘉慶初年... 嘉慶初年...  
 一 嘉慶初年... 嘉慶初年... 嘉慶初年...

一 嘉慶初年... 嘉慶初年... 嘉慶初年...  
 一 嘉慶初年... 嘉慶初年... 嘉慶初年...  
 一 嘉慶初年... 嘉慶初年... 嘉慶初年...

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

名入海  
為庶極也  
一 豈意以海為平  
長江與海相連  
則無事於海

十日書

一 仙列於世  
一 海風自  
一 仙名古遠

一 海目之海

一 仙列於世  
一 仙名古遠

一 仙列於世  
一 仙名古遠

十日書

一 仙列於世  
一 仙名古遠



沖田の長・作

一 去年の秋の酒の味

沖田の長 作

一 去年の秋の酒の味

沖田の長 作

一 去年の秋の酒の味

沖田の長 作

一 去年の秋の酒の味

沖田の長 作

一 去年の秋の酒の味

沖田の長 作

一 去年の秋の酒の味

沖田の長 作

一 去年の秋の酒の味

沖田の長 作

沖田の長 作

一 去年の秋の酒の味

沖田の長 作

一 去年の秋の酒の味

沖田の長 作

一 去年の秋の酒の味

沖田の長 作

沖田の長 作

一 六時附山往寺書院以是日四時終了  
 一 大板相其間之徒 寺出旨 寺序以何處  
 一 并南口以後之徒也其通以酒戶之徒  
 一 寺多修行之徒其美合其法也其法也  
 一 仙名在東山年高者 寺日之徒也其法也  
 一 寺中以此徒之徒也其法也其法也  
 一 二十二年 仙名在東  
 一 二十七年 作付十名  
 一 二十九年 酒白屋也  
 一 右方系後開四身人云云其為  
 一 寺名自寺海部也其法也其法也

寺名之徒也其法也其法也  
 一 右方門徒 寺名之徒也其法也  
 一 仙名自白 寺名之徒也其法也  
 一 二十二年自村寺中以此徒之徒也其法也

是元在徒也  
 一 二十二年 金法法也  
 一 二十一年 大東 寺  
 一 二十二年 寺名自白  
 一 二十二年 寺名自白  
 一 二十二年 寺名自白

寺名自白也其法也其法也  
 寺名自白也其法也其法也

史記卷之八

史記卷之八

史記

史記卷之八

史記卷之八

史記卷之八

史記卷之八

史記卷之八

史記卷之八

史記卷之八

史記卷之八

史記卷之八

史記卷之八

史記卷之八

史記卷之八

史記卷之八

史記卷之八

史記卷之八

史記卷之八

史記卷之八

史記卷之八

史記卷之八

史記卷之八

口海編 詩心 一平 一平 一平 一平 一平 一平

詩心

詩心 詩心 詩心 詩心

詩心

詩心 詩心 詩心 詩心 詩心 詩心

詩心 詩心 詩心 詩心

詩心 詩心 詩心 詩心 詩心 詩心

詩心 詩心 詩心 詩心 詩心 詩心

詩心

詩心 詩心 詩心 詩心

詩心

詩心 詩心 詩心 詩心 詩心 詩心

詩心 詩心 詩心 詩心

詩心 詩心 詩心 詩心

詩心 詩心 詩心 詩心

詩心 詩心 詩心 詩心

詩心 詩心 詩心 詩心 詩心 詩心

詩心

詩心 詩心 詩心 詩心 詩心 詩心

詩心

詩心 詩心 詩心 詩心 詩心 詩心

詩心 詩心 詩心 詩心

詩心 詩心 詩心 詩心

詩心 詩心 詩心 詩心

右同了

右同所集錄一自白入  
一房之通以由了他人也切  
清宮一自以由者一也

此段係錄自  
自集錄以自  
自集錄以自

集錄以自  
集錄以自  
集錄以自

此段係錄自

集錄以自

右同得傷 清田一平以法自集錄以

右同自集錄以自集錄以 集錄以

但此段係錄自  
自集錄以自集錄以自集錄以

集錄以自  
集錄以自  
集錄以自

右

大感極以得傷 清田一平以法自集錄以

他右同了

集錄以自  
集錄以自

集錄以自

集錄以自

集錄以自

Handwritten notes at the top right of the page.

Handwritten text in the middle right section.

Handwritten text in the middle right section.

Handwritten text in the middle right section.

Handwritten text in the middle left section.

Handwritten text in the middle left section.

Handwritten text in the middle left section.

Handwritten text in the middle left section.

Handwritten text in the middle left section.

Handwritten text in the middle left section.

Handwritten notes at the bottom left of the page.



字来以...

日...  
美...  
以...  
正...

日...  
以...  
正...

日...  
以...  
正...

日...  
以...  
正...

日...  
以...  
正...

日

日...  
以...  
正...

日...  
以...  
正...

日...  
以...  
正...

有...  
日...  
以...  
正...

日...  
以...  
正...

日...  
以...  
正...

日...  
以...  
正...

有...  
日...  
以...  
正...

日...  
以...  
正...

日...  
以...  
正...

河内

山崎

大友 八  
井

右教の政管

山崎

右教

大友 山崎

山崎

山崎

山崎

右教

大友 山崎

右教

山崎

山崎

右教

山崎

右教

右教

右教

右教

山崎

山崎

山崎

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

一 詩曰...

卷之二

右荒山度牒... 但二十七... 卷之二

... 卷之二 ... 卷之二 ... 卷之二

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



与六梅沙... 故因... 故... 故...

一 西河... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...

一 且... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...

一 且... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...

一 且... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...

与六梅沙... 故... 故... 故...



有以人巨是也... 其... 者... 後...

宋書... 後... 年...

江道... 後... 年...

右... 後... 年... 者... 後... 年...

後... 年... 者... 後... 年...

一... 後... 年...

精... 後...

右... 後... 年... 者... 後... 年... 十... 後... 年... 後... 年...

十七日... 後...

一... 後... 年... 者... 後... 年...

一... 後... 年... 者... 後... 年...

一... 後... 年... 者... 後... 年...

一... 後... 年... 者... 後... 年...

一... 後... 年... 者... 後... 年...

一... 後... 年... 者... 後... 年...

一... 後... 年... 者... 後... 年...

右... 後... 年...

宋書... 後... 年...

酒... 後...

精... 後...

右様と申書は以て漢教は通る事と存じます

右様と申書は以て漢教は通る事と存じます

休十亥

一 長門江流の所此部と申すは自派と云月古の  
紅美西人師と自派西人寺人師と云月古の  
口物と申すは古流古流の同派師付流と申す  
流と云月古の存すは此部と申すは古流古流  
物と申すは古流古流の同派師付流と申す  
抄紙

十八日 書

一 物別仕仕申書は以て漢教は通る事と存じます

一 寺別仕仕申書は以て漢教は通る事と存じます

一 西河屋下の同派師付流と申すは

若田師付

一 大阪相違 寺別仕仕申書は以て漢教は通る事と存じます

一 海教の旨  
一 漢教の旨

佐々木

一 寺別仕仕申書は以て漢教は通る事と存じます

新井

一 寺別仕仕申書は以て漢教は通る事と存じます

一 寺別仕仕申書は以て漢教は通る事と存じます

一 寺別仕仕申書は以て漢教は通る事と存じます

一 寺別仕仕申書は以て漢教は通る事と存じます

一 寺別仕仕申書は以て漢教は通る事と存じます

此乃前朝皇帝御笔

一 名号为人 幽人 皇曰 皇曰  
昔方 极也 皇曰 皇曰 皇曰  
少也 皇曰 皇曰 皇曰 皇曰  
皇曰 皇曰 皇曰 皇曰

十九日

此乃前朝皇帝御笔

西清殿 皇曰 皇曰

皇曰 皇曰

皇曰 皇曰 皇曰 皇曰  
皇曰 皇曰 皇曰 皇曰

皇曰 皇曰

皇曰 皇曰 皇曰 皇曰

皇曰 皇曰

皇曰 皇曰 皇曰 皇曰  
皇曰 皇曰 皇曰 皇曰

皇曰 皇曰

皇曰 皇曰

皇曰 皇曰 皇曰 皇曰  
皇曰 皇曰 皇曰 皇曰

皇曰 皇曰

皇曰 皇曰 皇曰 皇曰  
皇曰 皇曰 皇曰 皇曰

皇曰 皇曰 皇曰 皇曰  
皇曰 皇曰 皇曰 皇曰

皇曰 皇曰 皇曰 皇曰

皇曰 皇曰 皇曰 皇曰  
皇曰 皇曰 皇曰 皇曰

冲霄 冲霄之仙 冲霄 冲霄子  
冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子

冲霄子

大雁和冲霄子书

冲霄子 冲霄子 冲霄子

冲霄子 冲霄子 冲霄子

冲霄子 冲霄子 冲霄子

冲霄子 冲霄子 冲霄子

冲霄子 冲霄子 冲霄子

冲霄子

冲霄子

冲霄子

冲霄子

冲霄子

冲霄子

一 冲霄子 冲霄子

冲霄子

冲霄子

冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子

冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子

冲霄子

冲霄子

冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子

冲霄子

冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子

冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子 冲霄子

冲霄子

以...  
...

一 以...  
...

古二口

一 物...  
...

一 西...  
...

一 一...  
...

田...  
...

一 許...  
...

古二口

一 例...  
...

一 西...  
...

若...  
...

一 大...  
...

不...  
...

一 許...  
...

一 印...  
...

一 許...  
...

口...  
...

一 許...  
...

口...  
...

一 許...  
...

許慎

引書曰

自國經細

但引書曰

筆法

道法

一南洋通事許慎之

引書曰

竹村十景

竹村十景

一竹村十景

竹村十景

竹村十景

竹村十景

竹村十景

一竹村十景

竹村十景

一竹村十景

竹村十景

一竹村十景

竹村十景



御上

右府對舊亭了全使了所請之旨以故多田  
物之處之人亦入所書之也。此誠可謂也  
許也

以實

私後教文書

許厚恩之旨以故所換來信備

信付在書之實如也應那之往來書信也

許甚么和信信也

許厚恩及書信之去在少來信也

許厚恩及之信信書生信非信信各書信也

全使了所請之旨以故

許厚恩及書信也

許厚恩及書信也。若此等書信也  
以之

文部省入成書年三月

御上

仙石左衛門

仙石左衛門

仙石左衛門

仙石左衛門

仙石左衛門

仙石左衛門

仙石左衛門

仙石左衛門

同進... 詩... 出...

稻垣 恰

古く百葉

- 一 列刻... 大...
- 一 大...
- 一 詩...
- 一 詩...

但... 一...

...

一... 詩...

...

...

有... 詩... 同...

...

大日折...

若田...

有るより日海州は海に於ては人々の口々に  
 其の故に相傳へて來りし事多しと云ふ事  
 口々に傳へて來りし事多しと云ふ事  
 其の故に相傳へて來りし事多しと云ふ事  
 其の故に相傳へて來りし事多しと云ふ事

太刀打後

早川忠篤

右の口々に傳へて來りし事多しと云ふ事  
 其の故に相傳へて來りし事多しと云ふ事  
 其の故に相傳へて來りし事多しと云ふ事

如書

田人

右の口々に傳へて來りし事多しと云ふ事  
 其の故に相傳へて來りし事多しと云ふ事  
 其の故に相傳へて來りし事多しと云ふ事  
 其の故に相傳へて來りし事多しと云ふ事  
 其の故に相傳へて來りし事多しと云ふ事  
 其の故に相傳へて來りし事多しと云ふ事  
 其の故に相傳へて來りし事多しと云ふ事  
 其の故に相傳へて來りし事多しと云ふ事  
 其の故に相傳へて來りし事多しと云ふ事  
 其の故に相傳へて來りし事多しと云ふ事

大森 登

若 虎

日

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

長島有年

一柳五尺

常所出之魚

若 係之魚

早川平所

後井法所

日 出所出之魚

日 出所出之魚

在者口一一人之口則家

松原之口則家

但此所出之魚

一井利物 沖水後取入向之口則家

何之松原所出之魚

沖水後取入向之口則家

日 出

右言人之口一一人之口則家

是下位 沖水後取入向之口則家

沖水後取入向之口則家

沖水後取入向之口則家

沖水後取入向之口則家

沖水後取入向之口則家

西督 沖水後取入向之口則家

日 出

一柳五尺

全反古成

右言人之口一一人之口則家

江蘇省上海中法大藥房 但亦係在江蘇省

一 濟南之香菸 亦係在江蘇省

但亦係在江蘇省

一 山東省地 亦係在江蘇省

濟南 濟南之香菸 亦係在江蘇省

多日

仙石在江

亦係在江

亦係在江

亦係在江

亦係在江

亦係在江

亦係在江

亦係在江

亦係在江

亦係在江

亦係在江

亦係在江

亦係在江

亦係在江

亦係在江

亦係在江

多日

多日

多日

多日

多日

多日

多日

多日

多日

多日

多日

多日

多日

多日

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

長  
百川海

右書 了 亥 沙 流 一 出 姓 以 姓 爲 沙 國 者  
江 蘇 合 社 年 他 在 蘇 州 同 年 一 元

一 右 書 蘇 州 判 物 許 以 後 蘇 州 判 物 蘇 州 判 物

沙 廣 蓋 以 小 判 物 持 以 判 物 者 上 書

家 督 許 以 後

王 叔 及 所

政 目 許 以 後

所 以 判 物

政 目

若 田 判 物

右 書 了 亥 沙 流 一 出 姓 以 姓 爲 沙 國 者 上 書

但 在 蘇 州 同 年 一 元

江 蘇 合 社 年 他 在 蘇 州 同 年 一 元

選 取 年 年 年 年

王 叔 及 所

右 今 之 判 物 以 判 物 收 上 一 一 年 一 年 一 年 一 年

而 同 以 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物

沙 流 一 出 姓 以 姓 爲 沙 國 者 上 書

上 書 一 元 一 元 一 元 一 元 一 元 一 元 一 元 一 元

今 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物

判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物

判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物

判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物

判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物

今 判 物 判 物

右 今 之 判 物 以 判 物 收 上 一 一 年 一 年 一 年 一 年

判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物 判 物



但此百物之由一統一之平一之口均而為之也

以世為事

一沙流下口而一切之沙流也此沙流也

沙流

沙流

沙流

沙流

但此百物之由一統一之平一之口均而為之也

以世為事

沙流

沙流

沙流

沙流

沙流

沙流

但此百物之由一統一之平一之口均而為之也

以世為事

沙流

沙流

沙流

一沙流也 沙流也 沙流也 沙流也

沙流也 沙流也

一沙流也

方之通也

二月十六日

沙流

二月二日

沙流

二月一日

沙流

一 君... (vertical text)

曾... (vertical text)

一 乃... (vertical text)

... (vertical text)

女六日啓

一 物... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

若... (vertical text)

一 雲... (vertical text)

... (vertical text)

五七日

一 物... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

一 君... (vertical text)

... (vertical text)

一 右之目今之公也 許其進修之志也  
位也

一 此之目也 許其進修之志也  
幸其進修之志也

一 許其進修之志也  
櫻井良亮

右之目也 許其進修之志也  
許其進修之志也

一 右之目也 許其進修之志也

國之如彼也  
許其進修之志也

右之目也

山付 貞  
白田 貞

右之目也

山付 貞

白田 貞

廿八日 啓

一 右之目也 許其進修之志也

許其進修之志也

一 許其進修之志也

但此之目也 許其進修之志也

一 許其進修之志也

國之如彼也 許其進修之志也

許其進修之志也

山付 貞

皇朝詩林

皇朝詩林卷之二

中世詩林

但一統詩林之年以事一介之語亦知中世

全世百是

仙詩百

全百是

仙詩百

張之

仙詩百

右

國之由故詩林也

仙詩百是也

仙詩百是也

一 仙詩百是也

仙詩百是也

一 仙詩百是也

仙詩百是也

仙詩百是也

仙詩百是也

一 仙詩百是也

仙詩百是也

一 仙詩百是也

仙詩百是也

一 仙詩百是也

仙詩百是也

一 仙詩百是也

仙詩百是也

有口便之自之... 冲波成

冲波成... 冲波成... 冲波成...

一冲波成... 冲波成...

冲波成... 冲波成...

一冲波成... 冲波成...

冲波成... 冲波成...

冲波成... 冲波成...

一冲波成... 冲波成...

一冲波成... 冲波成...

一冲波成... 冲波成...

冲波成... 冲波成...

一冲波成... 冲波成...

冲波成... 冲波成...

一冲波成... 冲波成...

冲波成... 冲波成...

一冲波成... 冲波成...

一冲波成... 冲波成...

冲波成... 冲波成...

借... 冲波成... 冲波成...

秋葉... 冲波成...

冲波成... 冲波成...

冲波成... 冲波成...

一冲波成... 冲波成...

一 于細 一 百

仙石方象  
一 百

右今日

國之如快乎他國。日在夜留。海島之  
沖日。夜上。千。

一 國之如快乎他國。日在夜留。海島之  
一 友之通切。能少。能少。乃。能少。

口。能少。

年中。以。多。心。能。少。能。少。能。少。  
能。少。能。少。能。少。能。少。能。少。  
能。少。能。少。能。少。能。少。能。少。

町。能。少。

年中。以。多。心。能。少。能。少。能。少。  
能。少。能。少。能。少。能。少。能。少。  
能。少。能。少。能。少。能。少。能。少。

口。能。少。

年中。以。多。心。能。少。能。少。能。少。  
能。少。能。少。能。少。能。少。能。少。  
能。少。能。少。能。少。能。少。能。少。

口。能。少。

年中。以。多。心。能。少。能。少。能。少。  
能。少。能。少。能。少。能。少。能。少。  
能。少。能。少。能。少。能。少。能。少。

口。能。少。

年中之多事也

年中之多事也

年中之多事也

年中之多事也

年中之多事也

年中之多事也

年中之多事也

年中之多事也

年中之多事也

年中之多事也

年中之多事也

年中之多事也

年中之多事也

年中之多事也

年中之多事也

年中之多事也

年中之多事也

年中之多事也



佛子經卷之三

法華經疏

平一函定

心中以道為心，佛子，如來於法身中，  
以法身為本，以智慧為體，以慈悲為用，  
以神通為力，以願力為因，以淨土為歸，  
以法界為境，以法界為歸。

法華經疏

以法人為本，以法身為體，以法界為用，  
以法界為力，以法界為因，以法界為歸。

法華經疏

法華經疏

法華經疏

法華經疏

法華經疏

法華經疏

法華經疏

法華經疏

法華經疏

法華經疏

法華經疏

法華經疏

法華經疏

法華經疏

法華經疏

法華經疏

法華經疏

法華經疏

茂玄長  
聖師共

予年以中平一節為故信之也其意廣矣  
以正而守之信之也其意深矣其于道  
之反也信之也其意

古九口信

一 佛剎在法雲寺北以之為自設

二 佛剎在法雲寺北以之為自設

仙右左系

河右左系

一 佛剎在法雲寺北以之為自設

一 許國之信之道

一 方之信之信之道

吉田軍曹  
堀田村長

堀田村長  
堀田村長  
堀田村長

堀田村長

二 天之子

予年以中平一節為故信之也其意廣矣  
以正而守之信之也其意深矣其于道  
之反也信之也其意

但予年以中平一節為故信之也其意廣矣  
以正而守之信之也其意深矣其于道  
之反也信之也其意

凡此引史者多矣  
如法雅者引史者多矣  
每及若此之公若此也

西山先生

山口雲

一 御前出仕早書物終久自筆成始也

一 御前出仕早書物終久自筆成始也

一 御前出仕早書物終久自筆成始也

御前出仕早書物終久自筆成始也

御前出仕早書物終久自筆成始也

一 御前出仕早書物終久自筆成始也

御前出仕早書物終久自筆成始也

御前出仕早書物終久自筆成始也

御前出仕早書物終久自筆成始也

御前出仕早書物終久自筆成始也

御前出仕早書物終久自筆成始也

御前出仕早書物終久自筆成始也

御前出仕早書物終久自筆成始也

御前出仕早書物終久自筆成始也

御前出仕早書物終久自筆成始也

一 御前出仕早書物終久自筆成始也

御前出仕早書物終久自筆成始也

御前出仕早書物終久自筆成始也

御前出仕早書物終久自筆成始也

御前出仕早書物終久自筆成始也

御前出仕早書物終久自筆成始也

一 御前出仕早書物終久自筆成始也

手出者方物也  
大徳福の事なり

酒白清  
岩田藤子

右の如く出仕の事  
四例の事なり  
一 右の如く出仕の事  
なり

出石藩

御用部屋日記

文化五年二月

出石町公民館蔵

文化十六年

二月

日記

石田静島

二月大

沙年芳  
 沙年芳  
 沙年芳  
 沙年芳  
 沙年芳  
 沙年芳  
 沙年芳  
 沙年芳  
 沙年芳  
 沙年芳

火海

恒流海海

石国群  
 石国群  
 石国群  
 石国群  
 石国群  
 石国群  
 石国群  
 石国群  
 石国群  
 石国群

海  
 伴

水  
 泉

部白紙

- 一 六丁子 許田秀忠名上 許田藤
- 一 許田長何波田小何上名
- 一 大原梅田上名高平藤 許田長何波田
- 一 西通小何上名高平

酒名清林  
石田輝馬

右ノ列ノ付 許田長何波田小何上名高平藤門  
地法ノ制ナリ 許田長何波田小何上名高平藤門  
制ナリ 許田長何波田小何上名高平藤門  
但 若葉人 許田長何波田小何上名高平藤門  
許田長何波田小何上名高平藤門

荒本制ナリ

亡父ノ名及後在 許田長何波田小何上名高平藤門  
也 許田長何波田小何上名高平藤門  
許田長何波田小何上名高平藤門  
許田長何波田小何上名高平藤門  
許田長何波田小何上名高平藤門  
許田長何波田小何上名高平藤門  
許田長何波田小何上名高平藤門  
許田長何波田小何上名高平藤門

右ノ列ノ付 許田長何波田小何上名高平藤門  
制ナリ 許田長何波田小何上名高平藤門  
但 若葉人 許田長何波田小何上名高平藤門



許君之平初發心經

虎林書院

右氏之遊日景 仁智莊之山莊

竹村十卷

右氏之子歲居首好 詩是後身之

但為道之

右氏之昔月法在別序之

平井以公

今取以自之

仁以海信之

以海信之

以海信之

平井

他名氏平口之文之... 仁以海信之... 仁以海信之... 仁以海信之...

右平之選教家物 之選利十所 其林之平在

門地... 之

利十所之 仁以海信之

利十所之 仁以海信之

利十所之

仙在右氏之

法在右氏之

他方之...

江蘇蘇州府知府  
丁建勳

仙石友系

向以飲酒

西心善友

一 江蘇蘇州府知府

少組 許敬之

一 蘇州府知府

之月 許敬之

許敬之

一 江蘇蘇州府知府

許敬之

許敬之

一 江蘇蘇州府知府

許敬之

許敬之

許敬之

許敬之

許敬之

許敬之

許敬之

許敬之

許敬之

一 江蘇蘇州府知府

許敬之

許敬之

許敬之

許敬之

一 江蘇蘇州府知府

許敬之

高丁山志体日... 後

一 山田村

照丁山田村

山城能高... 山田村... 後

二 山田

山田出仕... 山田村

山田村

初年

山城能高... 山田村

山田村

山田村

山田村

山田村

山田村

山田村

山田村

山田村

山田村

山田村

大塚實

右首長は、信實、海軍、合資、銀行、  
東京、大阪、名古屋、各社、役員、等、あり、

二日

一 例、別、出、仕、早、書、指、針、を、編、纂、せ、り、  
一 大、塚、實、所、長、上、議、 許、出、有、付、向、(後、同、書、下、  
頁、五)

一 以、自、付、連

以、細、江、有、付、也、  
以、若、有、知、也、

若、有、知、也

以、信、子、子、子、子、子、子、  
以、知、是、也、也、也、也、

竹村十郎

以、信、子、子、子、子、子、子、  
以、知、是、也、也、也、也、

若、有、知、也

以、信、子、子、子、子、子、子、  
以、知、是、也、也、也、也、

若、有、知、也

以、信、子、子、子、子、子、子、  
以、知、是、也、也、也、也、

一 以、自、付、連

若、有、知、也

以、信、子、子、子、子、子、子、  
以、知、是、也、也、也、也、

若、有、知、也

一 岁之岁 许山系方此自 许山系  
许山系自 许山系自

山口 许山

一 列列生住生 许山系自

一 许山系自

一 许山系自

许山系

许山系 许山系

一 许山系自 许山系自

一 许山系自

一 许山系自

一 许山系自

许山系

一 军事

军事

军事

右年九十月六半时

一 许山系自

一 许山系自

一 许山系自

一 许山系自

一 许山系自

一 许山系自

一 许山系自

一 许山系自

一 许山系自

许山系

一 许山系自

许山系

在諸部中

一 平野

平野 津後 津平 津尾 津島 津田 津路 津島

一 津島 津島 津島 津島 津島 津島 津島 津島

一 津島 津島

一 津島 津島

一 津島 津島

一 津島 津島

一 津島 津島

一 津島 津島

一 津島 津島

一 津島 津島

一

在諸部中 津島 津島 津島 津島 津島 津島 津島 津島

津島 津島

一 津島 津島

津島

津島 津島

津島 津島

一 津島 津島

津島

津島 津島

津島 津島

一 津島 津島

津島

津島 津島

在諸部中 津島 津島 津島 津島 津島 津島 津島 津島

蘇東大花卷之甘身形之皮即此是

右如浮中平之之子之皮此也

烟山公年如及之也

今非之之也之也

即此之也之也之也

右邊斗為

六日 世語

一 例別出仕字言梅以之山同傳成語

一 澤田君如也

此右方系  
作付十卷

一 口傳為之也之也 許田正 信守監制

一 口傳之也

一 乃之通也 信守監制

一 思之也之也

此也

一 許田之也之也

此也

一 也

他之也之也

一 此也 許田正 信守監制

一 許田正之也

一 許田正之也 許田正 許田正

一 許田正之也 許田正之也 許田正之也

一 他之也之也

一 口傳之也之也



一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

一 友之通

先年... 海内... 尚矣...

公年行

首好信

又理行

于方... 先之... 波...

其... 知... 張...

矣...

...

...

其... 淨... 其... 乃... 乃...

一 西河殿下出経より勝下下宮より東路に於て  
大風梅之月七日午以河使の清澄に  
作之河使の西河殿より海に河使の清澄に  
河使の清澄に  
但河使の清澄に

修多寺

昌念寺

大風梅 河使の清澄に

河使の清澄に

竹村十孝

一 河使の清澄

丹波の河使の清澄に  
河使の清澄に  
河使の清澄に

山口生保

河使の清澄に

河使の清澄に

河使の清澄に

廿日

一 河使の清澄に

一 河使の清澄に

一 河使の清澄に

一 河使の清澄に

一 河使の清澄に

一 河使の清澄に

但大做梅香自心此自 許之 許之 許之

一 少有人道

口為心之 許之 許之

少以律為 卷七

一 許日見海入道

許之 許之 許之

荒本新序

許之 許之 許之

大做梅香自心此自

卷之九

一 秋葉自心此自 許之 許之

許之 許之 許之

許之 許之 許之

一 少有人道

許之 許之 許之

許之 許之 許之

許之 許之 許之

許之 許之 許之

許之 許之 許之

許之 許之 許之

許之 許之 許之

許之 許之 許之

福田治卷

一 少有人道

石



石

石

石

石

石

夏之二年

作三月

夏念親海在村多遊者

字楷者



夏服寺

一

却

少

女

居

破

年

化

系

寫

天

子

水

子

海王定

一 却

一 德

一 德

一 德

一 友

一 友

一 友

一 友

一 友

右列載之者皆係神宗高祖御書最寶物也

正德九年五月廿九日奉天門外者多由中者

少者皆以名不虛傳其書必公明自公也

正德九年五月廿九日奉天門外者多由中者

又之二年 胡在富漢子書之相歸村

年三月

德報寺



德報寺

11

見性奇蹟

一

一  
久  
不  
思

女  
居

根  
一  
小

根  
村

根  
根

望之

一  
共  
嘉

女  
居

望之

六  
望  
之  
望  
之  
望  
之

石動歌し者之代々神家と物奇最前編し

平所をよき一切医舟家門し者有し由中者

ゆきをよしゆきをよしゆきをよしゆきをよし



三任乃信之制取此乃始

更之二年

戊三月

母讀之新書通者未了

想性有



之標合

三書

十日  
十日  
十日

石之通之也此乃其始也

是乃信之也其始也

村之信之也其始也

信之信之也其始也

信之信之也

信之信之也

天之二年  
卯三月

卯  
辰  
巳  
金  
修  
金

方之進交紙以...

表

許...

初...

許...

一... 許...

許...

與...

與...

一...

許...

許...

許...

許...

許...

許...

日

表

許...

許...

許...

許...

許...

許...

許...

許...

許...

許...

許...

許...

古之也早後後河中  
白鳥鳴於城下  
後之甘如飴也 許地

橫井良辰

八日

一 別出紅字書 讀法之不同也

風日之自出也各

書影在野

名也 許地、許地、許地、許地、許地

地大版指之若因也

一 許地、許地、許地、許地、許地

如細絲非名之

荒中野野

一 名之故因也 何甘也此也

日

右亡父之版牌也 許地、許地、許地、許地、許地

之也

一 右之系也 許地

一 許地之物也

他許地之也 許地、許地、許地、許地、許地

之也 許地、許地、許地、許地、許地

他許地之也 許地、許地、許地、許地、許地

許地者之也 許地、許地、許地、許地、許地

右云著上...

荒本...

右...

右...

...

...

...

...

...

...

一...

...

...

...

...

...

...

一...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

以年...乃...  
乃...乃...乃...

田...  
乃...乃...

名...乃...乃...乃...  
乃...乃...乃...乃...

麻...乃...

乃...乃...

乃...乃...

松...乃...

乃...乃...乃...  
乃...乃...乃...

乃...乃...

水...乃...

乃...乃...

乃...乃...

乃...乃...

乃...乃...乃...  
乃...乃...乃...

乃...乃...

乃...乃...

乃...乃...

乃...乃...

乃...乃...

乃...乃...

乃...乃...

乃...乃...

乃...乃...乃...  
乃...乃...乃...

乃...乃...

乃...乃...

乃...乃...

乃...乃...

乃...乃...乃...  
乃...乃...乃...

平定

他海州公年終結事務中

平定

海州

平定

海州

平定

海州

平定

海州

平定

海州

平定

海州

海州

平定

海州

平定

海州

海州

海州

海州

平定

海州

平定

海州

平定

海州

平定

海州

平定

海州

海州

江... 有以... 定則... 以子... 後... 及...

神... 澤... 是... 平... 到... 之... 地... 以... 經... 行... 心... 及... 培... 田... 在... 德... 善...

一... 有... 但... 他... 在... 德... 善... 行... 心... 及... 培... 田... 在... 德... 善...

一... 有... 但... 他... 在... 德... 善... 行... 心... 及... 培... 田... 在... 德... 善...

一... 有... 但... 他... 在... 德... 善... 行... 心... 及... 培... 田... 在... 德... 善...

一... 有... 但... 他... 在... 德... 善... 行... 心... 及... 培... 田... 在... 德... 善...

一... 有... 但... 他... 在... 德... 善... 行... 心... 及... 培... 田... 在... 德... 善...

一... 有... 但... 他... 在... 德... 善... 行... 心... 及... 培... 田... 在... 德... 善...

九日... 十日...

一... 有... 但... 他... 在... 德... 善... 行... 心... 及... 培... 田... 在... 德... 善...



一 許出 許出 許出 許出 許出

名之甘 許出 許出

許出 許出 許出

竹村 許出 許出

一 別刻 許出 許出 許出 許出 許出

許出 許出 許出 許出 許出

許出 許出 許出

一 大版 許出 許出 許出 許出 許出

許出 許出 許出

一 版 許出 許出 許出 許出 許出

許出 許出 許出 許出 許出

一 許出 許出 許出

許出 許出 許出

許出 許出 許出

許出 許出 許出

許出 許出 許出

許出 許出 許出

許出 許出 許出

一 右江 許出 許出 許出 許出 許出

許出 許出 許出 許出 許出

一 許出 許出 許出

許出 許出 許出

許出 許出 許出

一 右江 許出 許出 許出 許出 許出

許出 許出 許出 許出 許出

一 許出 許出 許出 許出 許出

一 許出 許出 許出

許出 許出 許出

右江 許出 許出 許出 許出 許出

罗本以推境汗一也

西二子年

右回以十八日正立来一序以福威寺夫子  
地息一法及为分由中福威寺一其也

一乃之也

何回之也

以名之也 以法之也 以序之也

口若若也

以法之也 以法之也 以法之也

何回之也

以法之也 以法之也 以法之也

何回之也

以法之也 以法之也 以法之也

何回之也

以法之也 以法之也 以法之也

何回之也

以法之也 以法之也 以法之也

何回之也

以法之也 以法之也 以法之也

何回之也

以法之也 以法之也 以法之也

此正正正正  
九九九九九九  
口口口口口口  
口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口  
口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

右今日景

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口

日日日日日日日日日日  
十日十日十日十日十日十日

日日日日日日日日日日  
日日日日日日日日日日

日日日日日日日日  
日日日日日日日日

十日五

一 例 别 出 任 字 书 抽 出 之 心 何 以 感 悟 之  
一 今日 策 字 涉 涉 字 之 付  
一 需 用 何 在 何 在 涉 涉 字 何 涉 涉 字

他 别 地 名 为 人 子  
在 家 中 作 事 也

地 名 也  
桃 田 氏 曰  
国 曰 策 字

但 是 别 地 名 在 家 中 作 事 也 在 家 中 作 事 也

涉 涉 字 何 在 何 在 涉 涉 字 何 涉 涉 字

国 曰 策 字

涉 涉 字 何 在 何 在 涉 涉 字 何 涉 涉 字

一 山口村

山口村に在りて久し。

山口村に在りて久し。

佐々木

一 友通江 佐々木

山口村に在りて久し。

山口村に在りて久し。

佐々木

山口村に在りて久し。

山口村に在りて久し。

佐々木

山口村に在りて久し。

佐々木

右門外に在りて久し。

山口村に在りて久し。

山口村に在りて久し。

山口村に在りて久し。

山口村に在りて久し。

山口村に在りて久し。

山口村に在りて久し。

山口村に在りて久し。

山口村に在りて久し。

山口村に在りて久し。

山口村に在りて久し。

山口村に在りて久し。

山口村に在りて久し。

山口村に在りて久し。

山口村に在りて久し。

以海慈之...  
 以海慈之...  
 以海慈之...  
 以海慈之...

陸...  
海...  
...

右...  
 ...  
 ...  
 ...

...

右...  
 ...  
 ...  
 ...

...

右...  
 ...  
 ...  
 ...

加友入本

在自山并山東子軍後

許德文成平 許日身石 何甘家

許定以九國部任上家 許定以九國部任上家

何白 董

右許日身石 何甘家 許定以九國部任上家

許定以九國部任上家

大同

一 山田 許定以九國部任上家

許定以九國部任上家

許定以九國部任上家

許定以九國部任上家

許定以九國部任上家

許定以九國部任上家

許定以九國部任上家

許定以九國部任上家

右許日身石 何甘家 許定以九國部任上家

許定以九國部任上家

許定以九國部任上家

許定以九國部任上家

許定以九國部任上家

許定以九國部任上家

一 口

右許日身石 何甘家 許定以九國部任上家

許定以九國部任上家

一 寺松

高橋寺

台車為中付全割寺故多雲建之云云  
台車七割可若之云云南見之云云  
之云云圖之書之辨之云云  
辨之云云

一 以紙書以也

梶田武日

明抄之云云  
右の云云  
之云云

岡口第就

十日位

一 伊州出仕書物紙之云云

一 粟津殿之付 津田殿之付 進字之付 上紙之  
書

佐右左京

一 粟津殿之付 出仕書物  
一 津田殿之付  
一 進字之付

伴八守右地

一 津田殿之付  
一 進字之付  
一 出仕書物

一 以紙書以也  
一 以紙書以也  
一 以紙書以也



藏子如海内以是書之所  
台九年十月五日  
引年 許如海

云所  
為事將  
半次

一 奉法書以進

右年九月一日  
奉法書以進  
奉法書

士可相林林

一 制制出仕

制制出仕

以信子子子子子子  
以信子子子子子子  
子信子子子子子子

以信子子子子子子  
子信子子子子子子

出仕  
出仕  
出仕  
出仕  
出仕  
出仕  
出仕  
出仕

一 以信子子

以信子子子子子子  
以信子子子子子子  
以信子子子子子子  
以信子子子子子子  
以信子子子子子子

以信子子

一 大風梅の白  
一 津に云後多  
一 行舟

北名と遊

十三日音  
津五 津河川何へ渡りて

一 大風梅の老樹  
一 白河川

津河川に渡りて北名と遊

北名方急

一 津河川

竹村十景

右  
高飯梅 津河川に遊

津河川に遊

地影九郎

中津川に遊

津河川に遊

津河川に遊

小出仁平

一 道人

津河川に遊

津河川に遊

中津川に遊

津河川に遊

和川方急

江表...

甘肅...

江中...

大勇... 守... 言... 却... 後... 抄...

久...

年...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

十四日

一 何利生仕心平路致其何氏族姓一子  
一 早子 冲福生之身 甲子年 何氏自京州名  
百口也

亡者祖父叔母等每以幼年一子  
其活也如子之生也其生也如子之  
其生也如子之生也其生也如子之  
其生也如子之生也其生也如子之

荒木玄蕃

竹村十学

一 藤原氏之腹之子今之世也其在  
其外也其冲能

后山玄蕃

小出作年

一 源江

一 古川氏也

但古川氏之生也其生也如子之  
其生也如子之生也其生也如子之

一 渡人氏

一 古川氏也

其生也如子之生也其生也如子之  
其生也如子之生也其生也如子之

福田信房

其生也如子之

山内氏也

其生也如子之

佐竹氏也

其生也如子之

其生也如子之

一 山内氏也

山内氏也

古者 涉能文 亦中流之流

涉公 涉出年一 涉出年一 涉出年一 涉出年一

涉意之入 涉落之入 涉之入 涉之入 涉之入

涉在二流 涉之入 涉之入 涉之入 涉之入

涉在 涉意之入 涉之入 涉之入 涉之入

涉在 召少之入 涉之入 涉之入 涉之入

呼門 涉大 涉大 涉大 涉大 涉大

涉之入 涉之入 涉之入 涉之入 涉之入

涉之入 涉之入 涉之入 涉之入 涉之入

涉之入 涉之入 涉之入 涉之入 涉之入

涉之入 涉之入 涉之入 涉之入 涉之入

涉之入 涉之入 涉之入 涉之入 涉之入

涉之入 涉之入 涉之入 涉之入 涉之入

涉之入 涉之入 涉之入 涉之入 涉之入

涉之入 涉之入 涉之入 涉之入 涉之入

涉之入 涉之入 涉之入 涉之入 涉之入

涉之入 涉之入 涉之入 涉之入 涉之入

涉之入 涉之入 涉之入 涉之入 涉之入

涉之入 涉之入 涉之入 涉之入 涉之入

涉之入 涉之入 涉之入 涉之入 涉之入

涉之入 涉之入 涉之入 涉之入 涉之入

涉之入 涉之入 涉之入 涉之入 涉之入

涉之入 涉之入 涉之入 涉之入 涉之入

石室山房後有石塔一石室山房後有石塔一  
許日見 許意者許日見 許意者  
石室山房後有石塔一

後山石塔

石室山房後有石塔一  
許日見 許意者  
石室山房後有石塔一

後山石塔

石室山房後有石塔一  
許日見 許意者  
石室山房後有石塔一

後山石塔

石室山房後有石塔一  
許日見 許意者  
石室山房後有石塔一

後山石塔

石室山房後有石塔一  
許日見 許意者  
石室山房後有石塔一

後山石塔

石室山房後有石塔一  
許日見 許意者  
石室山房後有石塔一

後山石塔

石室山房後有石塔一

一 庚子年正月四日...

与 梅道清 安念 成 步 光 步 心 列 余 心 心

一 庚子年正月七日

三月七日

平度年送

右 庚子年正月七日 庚子年正月七日 庚子年正月七日

一 庚子年正月七日

右 庚子年正月七日 庚子年正月七日 庚子年正月七日

庚子年正月七日 庚子年正月七日 庚子年正月七日

右 庚子年正月七日 庚子年正月七日 庚子年正月七日

庚子年正月七日 庚子年正月七日 庚子年正月七日

一 庚子年正月七日

右 庚子年正月七日 庚子年正月七日 庚子年正月七日

庚子年正月七日 庚子年正月七日 庚子年正月七日

右 庚子年正月七日 庚子年正月七日 庚子年正月七日

庚子年正月七日 庚子年正月七日 庚子年正月七日

右 庚子年正月七日 庚子年正月七日 庚子年正月七日

庚子年正月七日 庚子年正月七日 庚子年正月七日

右 庚子年正月七日 庚子年正月七日 庚子年正月七日

庚子年正月七日 庚子年正月七日 庚子年正月七日

右 庚子年正月七日 庚子年正月七日 庚子年正月七日

庚子年正月七日 庚子年正月七日 庚子年正月七日





三刻信卷四刻六信

云侯君  
方以君

三九三月... 南宮... 刻  
治十年... 刻  
六... 刻  
今年... 刻

十百反

一 刻刻... 刻  
一 刻刻... 刻  
一 刻刻... 刻

刻刻... 刻

刻刻... 刻

刻刻... 刻  
刻刻... 刻  
刻刻... 刻

刻刻... 刻

刻刻... 刻

刻刻... 刻

刻刻... 刻

刻刻... 刻

刻刻... 刻

一 心書院上邊 清風山公名 山田守道

無作 清風山公名 山田守道

一 山田守道 山田守道 山田守道

清風山公名 山田守道

一 心書院上 清風山公名

清風山公名 山田守道

一 山田守道 山田守道

火傳式者

山田守道

山田守道

山田守道

山田守道

山田守道

山田守道

山田守道

山田守道

山田守道

山田守道

山田守道

山田守道

山田守道

山田守道

山田守道

山田守道

山田守道

山田守道

山田守道

中...  
右...

一...  
道...

左...  
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

右...  
左...

十六日

一...  
何...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

私法意義は自ら先定の法

許教先定の中後定の法は、法廷の法

許意の法廷の法廷

許法廷の法廷の法廷

尚文の法廷の法廷

法廷の法廷の法廷

法廷の法廷の法廷

法廷の法廷の法廷

抄取

許法廷の法廷

文化十一年三月一日

文化十一年三月一日 竹村十郎

許法廷の法廷

許法廷の法廷

許法廷の法廷

許法廷の法廷

許法廷の法廷

許法廷の法廷

許法廷の法廷

許法廷の法廷

許法廷の法廷

許法廷の法廷

許法廷の法廷

許法廷の法廷

許法廷の法廷

許法廷の法廷

依此原卷

右列各子... 亦道 亦道

四日廿下

右以... 亦道

一 亦道

右... 亦道

亦道

亦道

亦道

亦道

亦道

亦道

一 亦道

亦道

一 亦道

亦道

一 亦道

亦道

亦道

亦道

亦道

亦道

亦道

亦道

何日能逢夜月新

浙海於海之舟以涉丁年况况何事  
涉者乃舟也舟入涉者舟也舟也

二月十六日

晴

右如白也

与殿指上

一以

好

田

中

一

十七日

例

一

中

一

大

早

一

一

一

一

一

一

右

許施

一 乃 七 句 也 許 出 身 任 事 上 遊

許 以 治 許 進 行 許 日 見 治 道

許 公 許 序 乃 九 句 許 出 身 任 事 上 遊

許 序 乃 九 句 許 出 身 任 事 上 遊

乃 九 句

一 門 東 野 亭

何 田 野 亭

右 乃 許 院 野 亭 也 乃 許 院 上 遊

許 出 身 任 事 上 遊

許 日 見 許 進 行 許 日 見 治 道

許 出 身 任 事 上 遊

許 出 身 任 事 上 遊

許 出 身 任 事 上 遊

許 出 身 任 事 上 遊

許 出 身 任 事 上 遊

許 出 身 任 事 上 遊

許 出 身 任 事 上 遊

許 出 身 任 事 上 遊

許 出 身 任 事 上 遊

許 出 身 任 事 上 遊

許 出 身 任 事 上 遊

許 出 身 任 事 上 遊

門 東

許 出 身 任 事 上 遊

在江年考古行龍口後臨高西之江口後  
在古口北之江口之江口之江口  
許定之江口之江口之江口  
在江口入

何回江口

在江口之江口之江口之江口  
許定之江口之江口之江口  
在江口之江口之江口之江口  
在江口之江口之江口之江口

在江口之江口

在江口之江口

在江口之江口  
核之江口  
在江口之江口  
在江口之江口

在江口

在江口之江口之江口之江口  
在江口之江口之江口之江口  
在江口之江口之江口之江口

在江口之江口

在江口之江口之江口之江口  
在江口之江口之江口之江口

在江口之江口



許慎《說文解字》序云：『文字者，形、聲、義三者之統也。』  
此言自漢以後，文字之學，遂為一專門之學。許慎

一  
二  
三

右為子相授中一以收 許慎著之經言海內  
後世之學必出於此也 許慎

但此中一也 許慎著之經言海內

後世之學必出於此也 許慎著之經言海內

許慎著之經言海內

私後

許慎著之經言海內

許慎著之經言海內

許慎著之經言海內

許慎著之經言海內

許慎著之經言海內

許慎著之經言海內

許慎著之經言海內

許慎著之經言海內

文化大革命年一月八日

許慎著之經言海內

許慎著之經言海內

許慎著之經言海內

許慎著之經言海內

許慎著之經言海內

酒白清純皮  
岩新九所皮  
岩田許馬皮  
早川忠德皮

一 別封出仕字書極以三行字成邊上  
荒木玄著

一 酒白清純皮  
竹村十著

但大風極中... 許...

一 酒白清純皮  
酒白清純皮

一 酒白清純皮  
早川保

酒白清純皮  
早川保

酒白清純皮  
早川保

酒白清純皮  
仙石保

酒白清純皮

酒白清純皮

酒白清純皮

一 友之興義の事

許融の事

云云  
以之

二月十八日

若田輝馬

出中

一 右の如く  
一 右の如く

一 右の如く  
一 右の如く

引渡  
引渡

引渡  
引渡

引渡  
引渡

一 引渡

引渡  
引渡

引渡  
引渡

引渡  
引渡

引渡  
引渡

引渡  
引渡

大島

右の人

右漢書卷之四十五 百五十五卷之四十五 漢書卷之四十五

引後

右九所之所不不 仁會書一人合即即

抄方經文方以... 漢書卷之四十五

漢書卷之四十五 漢書卷之四十五

漢書卷之四十五 漢書卷之四十五

今古以道波降新... 漢書卷之四十五

漢書卷之四十五 漢書卷之四十五

十九日 卷之四十五

一 何則... 漢書卷之四十五

漢書卷之四十五

大... 漢書卷之四十五

漢書卷之四十五 漢書卷之四十五

石谷の書は... 許也

一 少部... 許也

二 少部... 許也

右の... 許也

二 少部... 許也

右の... 許也

一 少部... 許也

二 少部... 許也

右の... 許也

一 少部... 許也

許也... 許也

一 少部... 許也

右の... 許也

許也... 許也

一 少部... 許也

大口... 許也

一 少部... 許也

許也... 許也

許也... 許也

許也... 許也

五續多為許到向自  
山勢定之山也

早川志

云 許史遷延力

酒石清

以爲此種伊志日可善也 許史免

許史免 許史免 許史免

許史免 許史免 許史免

許史免 許史免 許史免

同

一 友之通 許史免 許史免

友之通 許史免

竹村十

許史免 許史免 許史免

斗之 許史免 許史免

許史免 許史免 許史免

許史免 許史免 許史免

許史免 許史免 許史免

許史免 許史免 許史免

一 友之通 許史免 許史免

竹村十

許史免 許史免 許史免

許史免 許史免 許史免

許史免 許史免 許史免

許史免 許史免 許史免

一 竹村十 許史免 許史免

一 後

竹村十景

一 右側山麓 上は嘉口川

百

一 河津山麓 河津川

但前川河津 河津山麓

河津山麓

河津山麓 河津川 河津山麓

河津山麓 河津川 河津山麓

河津山麓 河津川 河津山麓

河津山麓 河津川 河津山麓

河津山麓 河津川 河津山麓

河津山麓 河津川 河津山麓

一 河津山麓

養父河津山麓

養父

右の山麓の河津川 河津山麓 河津山麓  
河津山麓 河津川 河津山麓  
河津山麓 河津川 河津山麓  
河津山麓 河津川 河津山麓

一 河津山麓

河津山麓 河津川 河津山麓

小使 八

河津山麓 河津川 河津山麓

河津山麓 河津川 河津山麓

河津山麓 河津川 河津山麓

大門口

一 此是...

許出 許得...

一 子

一 方...

一 伯...

一 許...

但許...

一 双...

方...

右...

許...

身...

長...

長...

水...

中...

沈...

昔...

支...

右...

許...

許...

右...

右...



一 留以候付 山田二子

別知 山田二子  
山田二子  
山田二子

一 留以候付 山田二子

山田二子  
山田二子  
山田二子

一 留以候付 山田二子

山田二子

山田二子

一 留以候付 山田二子

一 留以候付 山田二子

山田二子

山田二子

山田二子

山田二子

右此卷存信者... 法會... 信...

文二口 快信

一 許出書... 許出...

許出... 許出...

許出...

一 大版板... 許出...

許出...

許出...

許出...

右... 許出...

許出...

許出...

許出...

許出...

許出...

右... 許出...

許出...

許出...

許出...

右... 許出...

許出...

許出...

許出...

許出...



大正四

一 此川出仕平書物以之同國成好一

一 西河版の付 許河版の付 彼河版の付

修之者

大版板許河版の付 西河版の付

許河版の付 許河版の付

海新の自由道版の付

平川の付

荒木の付

許河版

忘

許河版の付 今の付 西河版の付

忘 許河版

忘 許河版の付 今の付 西河版の付

忘 許河版の付 今の付 西河版の付

西河版の付

西河版の付

一 西河版の付 今の付 西河版の付

忘 許河版の付

忘 許河版の付

忘 許河版の付

他 深九郎

忘 大正

一 西河版の付

忘 許河版の付 今の付 西河版の付

忘 許河版の付

忘 許河版の付

一 西河版の付 今の付 西河版の付

忘 許河版の付 今の付 西河版の付

忘 許河版の付 今の付 西河版の付

忘 許河版の付 今の付 西河版の付

陸奥愛人... 陸奥に於ては... 陸奥に於ては...  
陸奥に於ては... 陸奥に於ては...  
陸奥に於ては... 陸奥に於ては...

一 陸奥に於ては... 陸奥に於ては...  
陸奥に於ては... 陸奥に於ては...

一 陸奥に於ては... 陸奥に於ては...  
陸奥に於ては... 陸奥に於ては...

陸奥に於ては... 陸奥に於ては...  
陸奥に於ては... 陸奥に於ては...

但し陸奥に於ては...

一 陸奥に於ては... 陸奥に於ては...  
陸奥に於ては... 陸奥に於ては...  
陸奥に於ては... 陸奥に於ては...

陸奥に於ては...



惜乎本伯卷...  
若恨并多...  
竹下...  
皆...  
...

山...  
...

十四日

一 伯...  
...

酒...  
...

右...  
...

早川...  
...

...

右...  
...

...

大...  
...

一 大...  
...

...

...

早川...  
...

一 許...  
...

一 許...  
...

但...  
...

一 以敬其以也

山川夜夜

右明方首句公田田何事在何處

好秋夜

一 以敬其以也

休十夜也

眼目台下田田少

田田八

右何事眼目也

田田之田田

田田

荒林夜夜

右未夜夜夜也

詩云：自夜夜夜也

但一統詩多，年忘中，廿年一統詩也

一 以敬其以也

守山夜夜

右山守山守山夜夜夜也

守山守山守山夜夜夜也

守山

一 以敬其以也

奉公人之夜夜夜夜夜也

奉公人之夜夜夜夜夜也

奉公人之夜夜夜夜夜也

但自守山守山夜夜夜也

守山人

守山人

守山



六六

一 七之三 許公色壯自正遠 許公學之遠也  
許所 許所長平書報以之 何處遠也  
一 大版極 許公色壯自正遠 許公色壯 許所長平復日  
亦何戶上法也

一 例刻出化

一 許公色壯自正遠 許公色壯 許所長平復日  
亦何戶上法也 例刻出化 許公色壯 許所長平復日  
亦何戶上法也

一 右之通 許公色壯自正遠 許公色壯 許所長平復日  
亦何戶上法也 例刻出化 許公色壯 許所長平復日  
亦何戶上法也

一 例年之通 許公色壯自正遠 許公色壯 許所長平復日  
亦何戶上法也 例刻出化 許公色壯 許所長平復日  
亦何戶上法也

一 右之通 許公色壯自正遠 許公色壯 許所長平復日  
亦何戶上法也 例刻出化 許公色壯 許所長平復日  
亦何戶上法也

一 右之通 許公色壯自正遠 許公色壯 許所長平復日  
亦何戶上法也 例刻出化 許公色壯 許所長平復日  
亦何戶上法也

一 右之通 許公色壯自正遠 許公色壯 許所長平復日  
亦何戶上法也 例刻出化 許公色壯 許所長平復日  
亦何戶上法也

一 右之通 許公色壯自正遠 許公色壯 許所長平復日  
亦何戶上法也 例刻出化 許公色壯 許所長平復日  
亦何戶上法也

一 許公色壯自正遠

許公色壯自正遠 許公色壯 許所長平復日  
亦何戶上法也 例刻出化 許公色壯 許所長平復日  
亦何戶上法也

一 奉化軍府

何之壽

右以夜日晉收還化之甘州之官發定列以  
右奉化軍府并漢州之治白牙子漢魏地也  
漢魏白之海軍之官奉化軍府之官也  
奉化軍府之官  
右以漢軍 許德長

口口甘肅

右以漢軍 許德長  
右以漢軍 許德長  
右以漢軍 許德長

西川漢軍

右之漢軍以官平為名由生所漢軍  
右之漢軍以官平為名由生所漢軍  
右之漢軍以官平為名由生所漢軍

六六口

一 劍門山北軍書據以之為漢地  
一 西漢之官出仕許國漢之官也

許國之官出仕許國漢之官也  
許國之官出仕許國漢之官也

核山漢軍

許國之官出仕許國漢之官也  
許國之官出仕許國漢之官也

新井古史

古田原集

原系德... 和日記方... 任... 以... 西...

一詩日之... 既... 亦...

亦...

汝...

右... 亦... 亦... 亦...

亦... 亦... 亦... 亦...

亦...

右日人

右... 亦... 亦...

汝...

右... 亦... 亦... 亦...

仙石...

亦...

亦...

亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

一 大板松葉 入道小細...

...

仙石友系  
荒木玄蕃

...

西川海舟

...

中村与三郎

...

...

...

後田光巳

...

山本与三郎

女七口

一 御月出仕...

一 大板松葉...

...

...

仙石友系

一 右近...

...

一 大板松葉...

...

一 右近...

...

百石成

口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口

口口口口

口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口

付付付付

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口口口口口口口

口口口口

口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口

口口口口

口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口

口口口口

口口口口口口口口口口

一 以部年以蓮

友官

西川德安

以部年  
物部年

右之三度以部年平為其好及生所為之  
以部年通以之甘比安六日以部年  
以便之其物以之其言多自好也

年為其好及

以部年  
友井德安

近日以部年其好及生所為之  
以部年通以之甘比安六日以部年  
以便之其物以之其言多自好也

二月廿六日

西川德安

西川德安

右門外無法身之海日了米財物之  
位之其言多自好也

一 留以伴八所由蓮

西川德安

西八

以部年通以之甘比安六日以部年  
以便之其物以之其言多自好也

西八

一 以部年法

西川德安

右門外無法身之海日了米財物之  
位之其言多自好也

許出其所以與人共借所無也

許通之許 許日見

一 許年與古之 許日見

許通之許 許日見 許年與

許通之許 許日見 許年與 許通之許

許通之許 許日見 許年與 許通之許

許通之許

一 川東共年法在始在創制也

位出之三年許在始在創制也

平法在始 許通之許

許通之許

許通之許

許通之許

許通之許

但據此之三年許在始在創制也

許通之許

右在許通 許日見 許通之許

許通之許 許日見 許通之許

許通之許

酒白 許

右在許通 許日見 許通之許

許通之許 許日見 許通之許

許日見 許通之許 許日見 許通之許

許通之許 許日見 許通之許

許通之許 許日見 許通之許

以便者以之

有歲以八則出為心念生於心之平處，以時入

以時入 許心許意遊 許目見

許心者入心者者以歲終，自來向心者皆若紅

紅者皆心者之平處也，延後以歲終

但心者皆心者之平處也，延後以歲終

想川才共

有平者心之平處也，無他心者皆心者之平處也

有平者心之平處也，無他心者皆心者之平處也

有平者心之平處也，無他心者皆心者之平處也

許目見 許心者心者之平處也，延後以歲終

許心者心者之平處也，延後以歲終

入

許心者心者

有平者心之平處也，無他心者皆心者之平處也

許目見 許心者心者之平處也，延後以歲終

許心者心者之平處也，延後以歲終

酒白 薑

有許目見 許心者心者之平處也，延後以歲終

以便者以之

右目見

荒本心者

有平者心之平處也，無他心者皆心者之平處也

許心者心者之平處也，延後以歲終



夫人自述

一 例別出仕

一 出仕家方系始既 一 再得履 一 終

許日思云 作何嘗口以終後 一 一 終 一 終

一 遂 一 一 遂 一 一 遂 一 一 遂

一 履 履 履 履 履 履 履 履 履 履

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 國之物 一 國之物 一 國之物 一 國之物

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

竹村十景

右起畫社對億萬年友之道  
窮神變之人心也道 冲德

為忘年友之贊

私淑修之真意

冲厚息令致尚又

冲德為友之友致道冲德首尾好意

冲德之友致修也

作甘苦之冲德為友之友致修也

友致修之友致修也

冲德悲感修之友致修也

友致修之友致修也

友致修之友致修也

友致修之友致修也

文公入城 庚午二月廿八日

竹村十景

仙石友友致修

荒木友友致修

仙石友友致修

酒白友友致修

岩田友友致修

早川友友致修

荒木友友致修

右明白以... 任付符

許... 但白木... 任付符

一右... 任付符

右... 任付符

一... 許... 任付符

一... 任付符

一... 任付符

一... 任付符

山... 任付符

右... 任付符

右... 任付符

古九日

一... 任付符

一... 任付符

酒... 任付符

一... 任付符

金... 任付符

一... 任付符

金... 任付符

右... 任付符

許... 任付符

任... 任付符

日... 任付符

一... 任付符

金... 任付符

一... 任付符

金... 任付符

一... 任付符

一 許日身例之道 但言著後社家

許年高之例

許年高之例

右院 許日身之例 許日身之例 許日身之例

許日身之例 許日身之例 許日身之例

許日身之例 許日身之例 許日身之例

許日身之例 許日身之例 許日身之例

許日身之例 許日身之例 許日身之例

許日身之例 許日身之例 許日身之例

許日身之例 許日身之例 許日身之例

許日身之例 許日身之例 許日身之例

許日身之例 許日身之例 許日身之例

許日身之例 許日身之例 許日身之例

許日身之例

許日身之例

許日身之例

許日身之例

佐七

此卷之宗旨... 亦非... 且其... 亦非... 且其...

一 以四以道

友之通德者... 付也

山田平八郎

伴八郎

其意... 伴八郎

右... 友之通德者... 亦非... 且其... 亦非... 且其...

以之覺

私修之文甚如... 亦非... 且其... 亦非... 且其...

許... 亦非... 且其... 亦非... 且其...

仁... 亦非... 且其... 亦非... 且其...

出... 亦非... 且其... 亦非... 且其...

許... 亦非... 且其... 亦非... 且其...

病... 亦非... 且其... 亦非... 且其...

以... 亦非... 且其... 亦非... 且其...

許... 亦非... 且其... 亦非... 且其...

亦... 亦非... 且其... 亦非... 且其...

文... 亦非... 且其... 亦非... 且其...

山田平八郎

井... 亦非... 且其... 亦非... 且其...

全... 亦非... 且其... 亦非... 且其...

玄... 亦非... 且其... 亦非... 且其...

大森 奎履  
山付 有成  
喜來 与恩成  
淑所 德善成  
仙右 与德成  
系六 与成成  
仙右 楊成

小六高成

右高成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成  
山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成  
山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成  
山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成  
山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成

山付有成

山付有成

山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成  
山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成  
山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成  
山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成

山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成  
山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成  
山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成  
山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成

山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成

山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成

山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成 山付有成

水田口條之南行也

東山口條之南行也

水田口條之南行也

臨江右行

水田口條之南行也

山行右行

水田口條之南行也

結成白

有山山南行也

水田口條之南行也

水田口條之南行也

酒白清也

有山山南行也

水田口條之南行也

有山山南行也

水田口條之南行也

一 水田口條之南行也

水田口條之南行也

梳田武田

水田口條之南行也

一 水田口條之南行也

一 水田口條之南行也

水田口條之南行也

酒白清也

水田口條之南行也

一 乃九号 津田芳

幸免此福津田氏之自修也

津田治之 津田通之 津田良之 津田良之

津田公 津田氏 津田氏

津田氏 津田氏 津田氏 津田氏

再海外津田氏

津田氏 津田氏

宋之康也

津田氏 津田氏

長谷川大信

津田氏 津田氏

西山集也

津田氏 津田氏

橋井良純

津田氏 津田氏

右 津田

西川氏所

右川氏所 津田氏 津田氏

津田氏 津田氏 津田氏

津田氏 津田氏 津田氏

津田氏 津田氏 津田氏

津田氏 津田氏 津田氏

津田氏

一 川氏所 津田氏 津田氏

津田氏 津田氏 津田氏

津田氏 津田氏 津田氏



業合

長治二年二

江成書卷

西川海軍

右の如く... 許の如く... 許の如く... 許の如く...

江成書卷

右の如く... 許の如く... 許の如く... 許の如く...

右の如く... 許の如く... 許の如く... 許の如く...

右の如く... 許の如く... 許の如く... 許の如く...

右の如く... 許の如く... 許の如く... 許の如く...

右の如く... 許の如く... 許の如く... 許の如く...

西川海軍

右の如く... 許の如く... 許の如く... 許の如く...

右の如く... 許の如く... 許の如く... 許の如く...

右の如く... 許の如く... 許の如く... 許の如く...

右の如く... 許の如く... 許の如く... 許の如く...

右の如く... 許の如く... 許の如く... 許の如く...

西川海軍

右の如く... 許の如く... 許の如く... 許の如く...

右の如く... 許の如く... 許の如く... 許の如く...

右の如く... 許の如く... 許の如く... 許の如く...

江成書卷

右の如く... 許の如く... 許の如く... 許の如く...

許州府城以日進甘止  
如任其然乃海平中後

中村共所

一 以用之進

友道 中村共所

小使 海七

以充以  
七使司 務均 以進  
以管 務均 支記

勇七

以充以

以管 九 常七

七使司 務均

以管 七 常七

以充以 務均

以管 七 常七

一月月八日書云 乃之平川忠長 以爲者如如辰

以用之進 乃之平川

一 友道 中村共所

以充以 務均

以管 七 常七

一 友道 中村共所

友道 中村共所

一 友道 中村共所

二月 中村共所

一 友道 中村共所

二月 中村共所

出石藩

御用部屋日記

文化五年 三月

出石町公民館蔵

文化十五年戊寅年

津在城

日記 早川忠房

三月小

四年  
以用人  
以信  
以物  
以  
以  
以  
以  
以

早川  
喜本  
仙居  
香  
移  
总  
六月  
松  
杉  
古  
麻  
国  
振

大酒

秋  
香  
若  
尾

西  
山  
園  
大  
門

山  
田  
二  
所  
八

增  
田  
菰  
助

皇  
家  
口  
論  
之  
情

報日雪

一 例制出仕江書指致不膏發平何涉機應

一 大廠梅野百下 津出 舟為日涉後成并

一 津師後何之海田道東來物合

一 津子松方上膏發合以法各處

不姓江大

右一曰涉月級

此後子方少月向

塔新九所

一 津日與何 道高日山後後

改載

言祖母病札不

荒亦玄著

一 津據見題 出山叫

一 昨日

舟上層

言祖母病札不

荒亦玄著

一 出據地打先

打

一 先月中

四月

言祖母病札不

荒亦玄著

右

為教梅正 津能國

町奉行

家門改定... 二日... 出改...

一也

二日 五 只此台信

何別出仕... 何津校屋中...

若田鶴吉

上仕而... 何津校屋中...

松井良藏

荒木玄菟

右高祖母... 何津校屋中...

荒木玄菟

何津校屋中...

大友十郎

右家八月五日... 何津校屋中...

何津校屋中...

何津校屋中...

何津校屋中...

何津校屋中...

何津校屋中...

何津校屋中...

関口常亮

何津校屋中...

何津校屋中...

二日快晴 一院始後

一 平野村松原出仕之事

一 上巳山後段何侍候松原書海段之事

一 清原松原之因松原段松原書海之事

一 松原先達今日自出氣山行

一 高祖母病見之云云昔病中能存性

一 山清原書海仕非有松原礼中云

一 同日清原松原之事由山後段中云

一 左京松原平書 清原見清原松原法統遊何云

一 松原

一 竹村十宗 清原見清原松原法統遊中仕之事

一 山清原松原 清原松原 清原松原松原之事

一 道非 清原見清原松原法統遊

一 同日友清之事 清原見清原松原法統遊

一 清原松原 清原見清原松原法統遊

一 大書院 清原松原松原法統遊

一 山後松原之事 清原松原松原法統遊

一 山清原松原之事 清原松原松原法統遊

一 山清原松原之事 清原松原松原法統遊

一 山清原松原之事 清原松原松原法統遊

一 山清原松原之事 清原松原松原法統遊

一 山清原松原之事 清原松原松原法統遊

一 文九所也松原松原法統遊

一 松原松原松原松原法統遊

一 松原松原松原松原法統遊

一 松原松原

四日 杖信

例別出仕口書海改主口何清機經中口

論叙 沖鏡之旨 雷聲之旨 何故曰之旨 洞之旨

昌合守口

沖代者

若回轉口

但大威相 沖代者之旨 何故曰之旨

口牙無法

若回轉口

若回轉口

右者 沖鏡

大書院口

沖之遊

若回轉口

浩而直在

沖自覺

一 左系 始回轉口

沖自覺

沖中遊

沖之有口

沖之在口

沖之在口

口極致之旨 在口側也 用口之旨 極之旨 一洗之旨

沖之有口

一 沖之有口 無法 始在口側也 用口之旨 極之旨 一洗之旨

沖之有口 無法 始在口側也 用口之旨 極之旨 一洗之旨

沖之有口 無法 始在口側也 用口之旨 極之旨 一洗之旨

業合

若回轉口

一 沖中入 遊年 大書院口

沖之在口 始在口側也 用口之旨 極之旨 一洗之旨

沖之有口 無法 始在口側也 用口之旨 極之旨 一洗之旨

沖之有口 無法 始在口側也 用口之旨 極之旨 一洗之旨

若回轉口

若回轉口

右口極致之旨

沖之有口 無法 始在口側也 用口之旨 極之旨 一洗之旨

沖之有口 無法 始在口側也 用口之旨 極之旨 一洗之旨

沖之有口 無法 始在口側也 用口之旨 極之旨 一洗之旨

沖之有口 無法 始在口側也 用口之旨 極之旨 一洗之旨

沖之有口 無法 始在口側也 用口之旨 極之旨 一洗之旨

沖之有口 無法 始在口側也 用口之旨 極之旨 一洗之旨

沖之有口 無法 始在口側也 用口之旨 極之旨 一洗之旨

業合

若回轉口



仙居及家才

小出及家才  
土波出及

右大書院想門才 沖月見 沖出及 沖出及

沖月見 沖出及 沖出及 沖出及

沖出及 沖出及 沖出及 沖出及

沖出及 沖出及 沖出及 沖出及

但出及 沖出及

沖出及

右出及代 沖出及 沖出及

沖出及 沖出及 沖出及 沖出及

沖出及 沖出及 沖出及 沖出及

沖出及

沖出及

右大書院 沖出及 沖出及

沖出及 沖出及 沖出及 沖出及

沖出及 沖出及 沖出及 沖出及

沖出及 沖出及 沖出及 沖出及

沖出及

右出及 沖出及 沖出及

沖出及 沖出及 沖出及

沖出及

沖出及

沖出及

沖出及 沖出及 沖出及

沖出及

沖出及 沖出及 沖出及

沖出及

一 町奉行

町奉行 人数 及 人数 及 人数

人数 合計 七百 七人 町奉行 人数 合計 七百 七人 町奉行 人数 合計 七百 七人

人数 合計 七百 七人 町奉行 人数 合計 七百 七人 町奉行 人数 合計 七百 七人

町奉行 人数 合計 七百 七人 町奉行 人数 合計 七百 七人 町奉行 人数 合計 七百 七人

二 町奉行

一 町奉行 人数 合計 七百 七人

町奉行 人数 合計 七百 七人

町奉行 人数 合計 七百 七人

一 町奉行 人数 合計 七百 七人

町奉行 人数 合計 七百 七人

町奉行 人数 合計 七百 七人

思右公傳入政體并如遺事百餘卷不齊初考  
是之通法 仁實以十家後者、保其如一  
如言抄、沖刺方之如何法或短於此也  
思右公傳

弘道館

五〇五

山白屋

仁石左邊

法法館

仁石左邊

橋井良藏

有傳信善長信法 仁實、年波取志希向

中法多法善長信法  
世法少道中、口如烟半、又自忘、沖受言、  
但見小、心、物、所、中、  
但見小、心、物、所、中、

山白屋

不、多、一、後、有、一、之、入、言、如、其、向、如  
不、多、一、後、有、一、之、入、言、如、其、向、如

早書後

山白屋

右、電、名、太、官、院、上、取、下、以、法、家、之、科、日、附、溫、冬、  
所、上、沖、刺、如、法、下、之、言、在、付、符、官、如、以、好、人、志  
如何付之、 冲刺如法、 仁石左邊

山白屋

山白屋

右、白、次

沖、前、以、少、上、取、下、以、法、家、之、科、日、附、溫、冬、

右、白、次、太、官、院、上、取、下、以、法、家、之、科、日、附、溫、冬、

右、白、次、太、官、院、上、取、下、以、法、家、之、科、日、附、溫、冬、

仁、石、但、正、年、三、月、廿、二、日、有、何、如、法、家、之、科、日、附、溫、冬、

但、正、年、三、月、廿、二、日、有、何、如、法、家、之、科、日、附、溫、冬、

六日 使信

一 何別出仕口少梅政之何處候下

一 需所候出仕前力何處候下

荒木玄美

一 任之守  
昌念守

酒白信

一 但大藏梅 津代者口少梅政之何處候下

竹村十之丞

一 其後梅政之何處候下

一 津目身念之通

淡村玄美

一 津目身念

一 若水何處候下

一 大藏梅政之何處候下 入有口少梅政之何處候下

化石左京  
若水玄美

一 津代新有口少梅政之何處候下

一 津目身念

一 若水何處候下

川之左京  
三男大代  
津目身念

一 津目身念之何處候下  
有口少梅政之何處候下

若水玄美  
西川源次郎

七日 使信

一 何別出仕口少梅政之何處候下

酒白信  
若水玄美

一 西川源次郎之何處候下

一 津目身念之通

一 若水玄美 津目身念之通

山崎

周之助

江原

若田

西川

堀

今原

右藤

中合

山崎

右藤 中合

中合

山崎

藤原

山崎

橋井

山崎

右藤

山崎

東軍統無

但物

周部

津

本

津

津

津

津

津

同

津

同

津浦線 四月二日

一 津浦線 津浦線 津浦線 津浦線  
信出向、津浦線

後村町

右 田代、津浦線、津浦線、津浦線、津浦線

橋本町

右 津浦線、津浦線、津浦線、津浦線、津浦線  
技術、津浦線、津浦線、津浦線、津浦線

一 大塚、津浦線、津浦線、津浦線、津浦線

津浦線

八日

一 津浦線、津浦線、津浦線、津浦線

但、津浦線、津浦線、津浦線、津浦線、津浦線

津浦線、津浦線、津浦線、津浦線、津浦線

本町

一 津浦線、津浦線、津浦線、津浦線

吉本

右 津浦線、津浦線、津浦線、津浦線

二宮

一 津浦線、津浦線、津浦線、津浦線、津浦線

老國海軍 西川海軍

津浦鐵路 津浦鐵路

津浦鐵路

門牙古島樹

大車十餘萬

右在指江州州人 信十餘萬

前在江州州人 信十餘萬

馭方 津浦鐵路

小向

信十餘萬

酒白 廿五

廿五廿五

右在 津浦鐵路

津浦鐵路

信十餘萬

右在 津浦鐵路

津浦鐵路

信十餘萬

信十餘萬

右在 津浦鐵路

信十餘萬

信十餘萬

信十餘萬

津浦鐵路

津浦鐵路

九月 敬啟

一 仙列生仕口古海故古以何中藏經...

一 雲霞友為何生仕者...

卷四 靜言

一 冲目見偏道

一 國之物授

一 山清如白

西川 漁父

有江 仙何自甘自画...

一 養之...

一 山紀年...

一 山父信...

卷四 漁父

右法 仙何...

一 齊...

一 大敵...

一 九...

一 山...

一 江...

一 子...

一 山...

一 此...

一 此...

一 此...

真光院...

真光院...

動...

卷四 靜言

卷四 靜言

卷四 靜言



寅二月

一 津菴陽科

張三及

朱亦信

一 真光院極極三回

津菴陽科張三及張三及張三及  
於大寺寺此處陽科三回後三回大光入之極極極極

一 津菴極極三回

津代香出極極三回

津代香極極三回

啟極

大啟極

大啟極

津代極

觸極

乾五即極

周之物極

於輝極

一 津菴極極三回

津代香極極三回

圓口極極

津代七五三

後亦極

小頭

足極

半同

三回六節八

右目人

圓口極極

右目人

右目人

啟者

許公

升之長

大啟者

右月人

觸惟極

增回七年

多表惟極

較之所極

右日人

周之極

於靜夜

一 涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

一 啟者

一 百廿四日... 盜賊入... 法向

何別出... 盜賊入... 法向

何別出... 盜賊入... 法向

何別出... 盜賊入... 法向

一 涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

一 涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

一 涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

一 涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

一 涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

一 涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

一 涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

一 涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

一 涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

一 涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

一 涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

一 涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

一 涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

一 涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

一 涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

一 涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

涉法事存世因付公在致人亦為公下代文也

世尊道序  
一 勸方...

右曰以

三信增

初以信...

以信增...

以信增...

以信增...

以信增...

少也序尾

長安川十物

久保在九所

長安年...

右年次

一 昔 津...

一 津...

一 津...

一 右...

津...

津...

津...

一 右...

今...

一 昔...

右...

山門...

石代

仁...

其...

運...

步...

信...

如...

年...

右...

一 右...

一 戶通山彩中外也

只費

其淨願同。各處。青。末。年。古。北。味。公。物。口。是。名。  
青。黃。二。月。公。同。廿。五。日。午。時。自。在。他。人。本。山。改。流。  
一。後。山。也。中。出。大。山。安。後。以。下。受。公。世。後。淨。門。室。  
山。影。在。位。入。公。心。

京 二月

龍地門之度

野田進

舟之解危  
山田二所八

但明如人出 何付委也之故也何人 若守中法也  
若法也何也

十日 晴

一 份割出仕中書海後之何法成也  
但中書海有術 淨境三付中書斗出仕何法成也  
戶系始之流也石波出仕何法成也  
淨出後淨用之平馬場也何法成也

一 西淨教何法何也何法何也何法何也

一 今之九名 淨出也新馬場也 淨出也

門牙馬術

大友十所是

右和始也何法何也何法何也  
何法何也何法何也何法何也  
淨出也何法何也何法何也

何合也何  
何系是也

何法何也

大友十郎

在室三  
世之存  
津之見  
津之見

但枝落

右  
津通之  
津通之  
但枝落

但枝落

有日  
津通之

津出  
津通之

津通之  
津通之  
津通之

但枝落

在朱  
津通之  
津通之  
津通之

津通之  
津通之  
津通之  
津通之

三月十日

早川忠房

但枝落

在在  
津通之  
津通之  
津通之

大有十餘萬

在案... 津用者... 津自見

江使書

右 津... 津自見... 津...

但枝落...

惠門...

右... 津...

津... 津...

...

津... 津...

...

...

...

...

津... 津... 津...

三月十日

早川...

...

...

...

...

但得下抱也

宋高祖

信亮

二解八组

改古部

十一日 夜

一 何别出仕出梅以之何律校中

西律校中何律校中

何律校中  
何律校中

一 何别出仕出梅以之何律校中

何律校中

何律校中

真回

何律校中

何律校中

何律校中

何律校中

何律校中

何律校中

何律校中

十一日 夜

一 何别出仕出梅以之何律校中

何律校中

何律校中

何律校中

何律校中

何律校中

何律校中

何律校中

何律校中





中法新法... 治法... 中法新法...

青柳... 信符... 中法新法...

今... 中法新法...

二月十九日

二月十九日

中法新法...

中法新法...

右... 中法新法...

中法新法...

中法新法...

中法新法...

一月... 中法新法...

中法新法... 中法新法...

中法新法... 中法新法...

中法新法... 中法新法...

中法新法... 中法新法...

中法新法... 中法新法...

中法新法... 中法新法...

中法新法... 中法新法...

中法新法... 中法新法...

中法新法... 中法新法...

中法新法... 中法新法...

中法新法... 中法新法...

中法新法... 中法新法...

中法新法...

中法新法...

中法新法...

中法新法...

中法新法...

为做梅子 味。小。何。道。上。法。在  
中。月。一。日。续

天合... 什况

一 青分... 何... 事

但... 何... 事

一 在... 何... 事

一 出... 何... 事

但... 何... 事

一 出... 何... 事

一 督... 何... 事

一 久... 何... 事

一 南... 何... 事

一 署... 何... 事

一 一... 何... 事

一 一... 何... 事

一 十... 何... 事

一 出... 何... 事

一 今... 何... 事

一 一... 何... 事

一 一... 何... 事

一 何... 何... 事

但... 何... 事

一 一... 何... 事

一 一... 何... 事

一 口物定三日月并江道能滿新日之如 津鏡有六結

出陣  
大敵極口何故回極之道

真回來

一 津鏡有六結 津鏡有六結 津鏡有六結

仙居在系

一 今日公身七七日三粒如來寺普光寺紫軍帳之付 月通史之十日後

世而之公大也其津鏡有六結 津鏡有六結

山鏡有六

有月以有月同公法後後月之 有月以

町字有六

有月以有月世帶三十一所之合也其 津鏡有六結

山月有六

一 粒如來寺普光寺紫軍帳之付同公古不能後 為其治下之町字何有月通史之後

一 有月以有月世帶三十一所之合也其 津鏡有六結 有月以

一 津鏡有六結 津鏡有六結 津鏡有六結

津鏡

山鏡有六

四州

津鏡有六結 津鏡有六結 津鏡有六結 津鏡有六結 津鏡有六結

書位

香此也  
破此能金  
波多山  
山路又平  
此信市更

書位

小出江  
松栢  
吾友快如  
言同  
本有

口

國口  
山

軍馬

右為 津院新馬場  
津院新馬場  
津院新馬場  
津院新馬場  
津院新馬場

後

右有人

右在  
右在  
右在  
右在  
右在

想

右津院新馬場

冲道是 冲道是 冲道是 冲道是 冲道是

冲道是

冲道是 冲道是 冲道是 冲道是 冲道是

十四日

伍别村住口書海以正何東城橋上

西冲道向 冲道是 冲道是 冲道是 冲道是

冲道是 冲道是 冲道是 冲道是 冲道是

冲道是

右生冲道是 冲道是 冲道是 冲道是 冲道是

西冲道是 冲道是 冲道是 冲道是 冲道是

冲道是 冲道是 冲道是 冲道是 冲道是

冲道是

冲道是 冲道是 冲道是 冲道是 冲道是

冲道是

冲道是 冲道是 冲道是 冲道是 冲道是

冲道是 冲道是 冲道是 冲道是 冲道是

冲道是

冲道是

冲道是 冲道是 冲道是 冲道是 冲道是

冲道是

冲道是 冲道是 冲道是 冲道是 冲道是

冲道是 冲道是 冲道是 冲道是 冲道是

冲道是

冲道是 冲道是 冲道是 冲道是 冲道是

冲道是 冲道是 冲道是 冲道是 冲道是

一者但公三者但公但給

台此受之念

二者但公三者但公但給  
世法以者自其也

台此受之念

三者但  
者自其但自其也

彼多小處台

四者但  
以故入方世法故也

台津華旅

五者但  
以故入方世法故也

小出入以者

六者但  
者自其但自其也

管見九世是

七者但  
以故入方世法故也

此後亦更

八者但  
世法以者自其也

中村亦如

九者但  
者自其但自其也

之及後也

十者但  
以故入方世法故也

改此係空是

十一者但  
以故入方世法故也

之病又平

十二者但  
以故入方世法故也

拓地思在是

十三者但  
以故入方世法故也

在江九世是

十四者但  
世法以者自其也

言回運空是

十五者但  
他日其也

本回運空是

西行處

因口動台

西心空處

有小金之原也自甘也 仁甘自甘以米中合其初也  
仁甘自甘也海也

仁甘自甘也海也 仁甘自甘也海也

仁甘自甘也海也  
仁甘自甘也海也  
仁甘自甘也海也  
仁甘自甘也海也

仁甘自甘也海也 仁甘自甘也海也  
仁甘自甘也海也 仁甘自甘也海也

仁甘自甘也海也  
仁甘自甘也海也

仁甘自甘也海也 仁甘自甘也海也

仁甘自甘也海也 仁甘自甘也海也

仁甘自甘也海也 仁甘自甘也海也

仁甘自甘也海也 仁甘自甘也海也

仁甘自甘也海也 仁甘自甘也海也

仁甘自甘也海也 仁甘自甘也海也

仁甘自甘也海也 仁甘自甘也海也

一 昨日、東京に出立し、山崎、大塚、高尾、向ヶ丘、王子、和歌山  
一 津村物、津村、後、入、山崎、高尾、和歌山、王子、和歌山

十六日 世信

一 例別、出仕、山崎、後、入、山崎、高尾、和歌山、王子、和歌山  
一 大塚、後、入、山崎、高尾、和歌山、王子、和歌山  
一 津村、在、山崎、後、入、山崎、高尾、和歌山、王子、和歌山

山崎、高尾、和歌山、王子、和歌山

山崎、高尾、和歌山、王子、和歌山

山崎、高尾、和歌山、王子、和歌山

山崎、高尾、和歌山、王子、和歌山

山崎、高尾、和歌山、王子、和歌山

山崎、高尾、和歌山、王子、和歌山

山崎、高尾、和歌山、王子、和歌山

山崎、高尾、和歌山、王子、和歌山

山崎、高尾、和歌山、王子、和歌山





右藏下人宛在、以用畫水、一、年、出、用、書、元、書、  
物、在

一 中目見書、此、非、事、

一 出、書、院、上、出、在、在、而、大、京、始、也、平、書、在、之、在、之、

一 中、出、中、出、在、在、遠、法、法、之、南、之、在、之、以、中、目、書、白

一 之、故、在、在、之、在、

書

西山園門

書

增

中村兵三郎

書

荒木玄著

書

增

中村泰物

書

渡辺源次

右、之、宛、在、出、在、中、之、出、小、姓、法、法、在、在、書、在、在、在、

中、目、

後、指、

竹村十子

藤岡年夏

右、之、宛、在、在、

一 中、村、兵、三、郎、在、在、一、以、法、用、書、何、之、出、之、出、

在、法、之、在、在、在、在、出、小、姓、法、法、在、在、書、在、在、在、

一 中、目、

中、目、

中村兵三郎

右、之、宛、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、

荒木玄著

右、之、宛、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、

右、之、宛、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、

右、之、宛、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、

右、之、宛、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、

右、之、宛、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、

右、之、宛、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、

右、之、宛、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、

高麗花丸一付  
立止

右一付  
百仕  
右一付

二月十日

平川

右一付

右一付  
右一付

小倉

中村

中村

中村

中村

中村

今日  
津利物

一  
津利物

一  
津利物

津利物

一  
津利物

津利物

一  
津利物

津利物

十六日

一  
津利物

津利物

一  
津利物

一、山口...

全...

志...

右田軍曹

河...

若...

仁...

山口...

右...

...

...

...

...

...

...

...

山口...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

四月廿三

此後年以道名相自意一書

沖國院有自意相自意一書

以所處度後方自意相自意一書

右月以

此道者者大

若回轉馬

大處全

十七日 其言

一 六才財 沖佛指有六財之公進之出仕口書後改之符

法後指有之

後三寺下

公新九所

右 大厥極 沖代者其知非有

沖言之自以用為尸文

此後年以道名相自意一書

沖國院有自意相自意一書

以所處度後方自意相自意一書

南白信志

仁者存之德

一 沖佛指有自山北以公之麻下志用

一 沖公台 沖出宅之寺如三寺

一 沖先祖極 沖靈市口有沖極也 沖卷指道遊

一 仁者存之德 沖通志 沖自見仕年事

一 此小書院及付之自山北以公之麻下志用

一 沖通志 沖自見仕年事

一 此九言 沖物道遊也書院以之何處極也

但沖佛指 沖國院有自意相自意一書

一 沖佛指後方自意相自意一書

沖自見仕年事 仁者存之德

一 口信

磨牙月廿六

香園靜馬

供色 一 若輩五人

長柄 草衣 行披名 皆然

金銀入法入 日夕入以入 在法寺飲

所入法寺 在法寺飲

一 齊嚴出例少入之

積物之有未平二男在年二男在名娘  
在已竟未平也冷温品二也了湯法信  
列古名

丹之原名

一 眼十有守村口信條 一 冲城

冲首金法 信色及信例少入之

一 右有口信式書出例少入之 一 右有口信式書出例少入之 一 右有口信式書出例少入之

一 右有口信式書出例少入之

右 冲器動來月二日遊 冲安寺信入

月十八日 冲城上遊 冲首金法

冲洋後山月付少之山以入出仕之印思代之發

下等之信入

二月十七日

早川惠建

也信中

在江麻六二信用也

一 冲首金法 冲首金法 冲首金法

中後

一 冲道平 冲馬具 冲山書院上修也 冲物好

冲院右有信入 冲院右有信入 冲院右有信入

冲物好 冲物好 冲物好

一 冲山姓改也

冲山姓改也 冲山姓改也 冲山姓改也

信色及信例

夏文太夜来常... 津先... 十八日... 津先... 十八日... 津先...

金澤米藏

十八日 其信

六世村 津首金... 津先... 津先... 津先...

津先... 津先... 津先...

津先... 津先... 津先...

津先... 津先... 津先...

西之國... 金澤米藏

津先... 津先... 津先...

津先... 津先... 津先... 津先... 津先...

津先... 津先... 津先...

如來寺

津先... 津先... 津先... 津先... 津先...

津先... 津先... 津先...

津先... 津先... 津先... 津先...

象升米藏

津先... 津先... 津先... 津先...

中村米藏

津先... 津先... 津先...

津先... 津先... 津先... 津先...

津先... 津先... 津先...

一 仙居大系涉年高天 冲月見

涉後世之... 冲月見... 涉後世之...

冲月見... 涉後世之...

冲月見... 涉後世之...

冲月見... 涉後世之...

冲月見... 涉後世之...

冲月見... 涉後世之...

冲月見... 涉後世之...

冲月見... 涉後世之...

冲月見... 涉後世之...

冲月見... 涉後世之...

冲月見... 涉後世之...

冲月見... 涉後世之...

冲月見... 涉後世之...

冲月見... 涉後世之...

石後

忠代

忠代

右至 冲居 冲居 冲居

冲居 冲居 冲居

冲居 冲居 冲居

冲居 冲居 冲居

冲居 冲居 冲居

冲居 冲居 冲居

冲居 冲居 冲居

冲居 冲居 冲居



沖用... 九月...  
親... 同... 出... 住... 後... 後... 後...  
智... 助... 出... 住... 後... 後... 後...  
...

後... 正...

... 九月...  
... 出... 住... 後... 後... 後...  
...

沖...

坊... 新... 九...

... 九月...  
... 出... 住... 後... 後... 後...  
...

...

沖... 九月...  
... 出... 住... 後... 後... 後...  
...

... 九月...  
... 出... 住... 後... 後... 後...  
...

... 九月...  
... 出... 住... 後... 後... 後...  
...

金... 海... 九...

祖... 九月...  
... 出... 住... 後... 後... 後...  
...

寺社...

昌... 念... 寺...

右... 九月...  
... 出... 住... 後... 後... 後...  
...

十九日...

沖...

... 九月...  
... 出... 住... 後... 後... 後...  
...

坊... 新... 九...

... 九月...  
... 出... 住... 後... 後... 後...  
...

... 九月...  
... 出... 住... 後... 後... 後...  
...

清用... 日定村山仕名

七... 是... 故...

... 故... 故...

... 故...

... 故...

... 故...

... 故...

一 友道 信... 故...

... 故...

... 故...

一 友道 信... 故...

... 故...

山田二所八

信...

信...

信...

信...

信...

信...

信...

信...

信...

信...

信...

一 戶通下自口從...

山陰守...

山陰守...

...

八

一 江...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一 存身

履福忘言 履七日 為 法書

西許九 止 涉 履 法 書

一 存身 止 涉 履 法 書

戶次大和 履 止 涉 履 法 書 履 法 書 履 法 書

履 法 書 履 法 書 履 法 書

大身 履 止 涉 履 法 書 履 法 書

法 止 涉 履 法 書 履 法 書 履 法 書

止 涉 履 法 書 履 法 書

二月九日

伏見 法 書

履 法 書 履 法 書 履 法 書 履 法 書

履 法 書

一 履 法 書 履 法 書 履 法 書 履 法 書

何 止 涉 履 法 書 履 法 書

大日 法 書

一 涉 者 割 身 止 涉 履 法 書

一 止 涉 履 法 書 履 法 書 履 法 書

宗 法 書

大 履 法 書 履 法 書

涉 法 書

荒 止 涉 履 法 書

一 大 履 法 書 履 法 書 履 法 書

涉 法 書 履 法 書

右 何 止 涉 履 法 書

涉 法 書 履 法 書

若 田 法 書

一 涉 者 履 止 涉 履 法 書 履 法 書 履 法 書

一 止 涉 履 法 書 履 法 書

涉 法 書 履 法 書 履 法 書 履 法 書

涉 法 書 履 法 書 履 法 書 履 法 書

其の... 後... 後... 後...

一 右... 後... 後... 後...

三月

一 右... 後... 後... 後...

中...

金...

大...

後...

後...

右...

後...

後...

後...

後...

後...

後...

後...

後...

後... 後... 後...

後... 後... 後...

後... 後... 後...

後... 後... 後...

一 右... 後... 後... 後...

一 右... 後... 後... 後...

一 右... 後... 後... 後...

一 右... 後... 後... 後...

一 右... 後... 後... 後...

一 右... 後... 後... 後...

此小此頭  
津用入

右邊標記在左邊津板記在右邊津用自左至右下津用者  
枝為支下下 津意有入津用也

津立板中 津意有入 津意有入 津意有入 津意有入  
此以合仕也

但津意

立板中付也此標記如也 此合為中 此合為中 此合為中

一統 津用也 仁付 津意有仕金也  
仁付 仁付 仁付 仁付 仁付 仁付 仁付 仁付 仁付 仁付

津意有仕金也  
津意有仕金也

町

此物是也  
此後士頭

此月付  
同如序  
同如

右此板記下二行 並板少一行也 津用自左至右  
津用者枝為支下下 津意有入 津意有入 津意有入 津意有入

仁入 津立板中 津意有入 津意有入 津意有入  
中上津用者此以合仕也

但津意也合仕也  
一人數多言此板記二行 並板少一行也 津用自左至右  
此板記也付也 津意有入 津意有入 津意有入 津意有入

一 大書院 津出遊遊法器也 此以合仕也 此以合仕也 此以合仕也

一 田並指上京始行也 由南之方 御席上 亦在 亦在 田國商

枝原

沖田 百 卷 下

史記 沖田 卷 一 同 古 記 三 卷 上

沖田

正誠中 何 國 也 始 初 也 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中

亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中

亦 卷 中

一 統 蒙 沖 意 難 有 仕 合 亦 卷 中 仁 貞 亦 卷 中

右 田 始 行 也

但 沖 田 卷 中 沖 田 卷 中 仁 貞 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中

亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中

亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中

一 上 京 始 行 也 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中

亦 今 沖 田 卷 中 仁 貞 亦 卷 中 沖 田 卷 中 亦 卷 中

亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中

亦 卷 中

田 條 目 亦 卷 中 田 條 目 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中

亦 卷 中 亦 卷 中

亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中

亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中

亦 卷 中 亦 卷 中

亦 卷 中 亦 卷 中

今日 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中

一 沖 田 卷 中 沖 田 卷 中 沖 田 卷 中 沖 田 卷 中 沖 田 卷 中

沖 田 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中 亦 卷 中

亦 卷 中

四月廿九日  
清和局

西藏元大  
先定民

四道智書

川信

四厥列書

北方文

四代信

四代大詩在

年勤之

四道函致

小島洞云

於之系信

精玄長

四醫師在

一 今日漢後公世法年四月廿九日為禮拜

一 月通町為首四月廿九日為

戶次大和寺後津法書祖母抄中記云云

教福津法書津法書存今日四月廿九日為

廿日兼念下有今日信今日四月廿九日為

廿日兼念下有今日信今日四月廿九日為

二月廿九日

四月廿九日

四月廿九日為今日四月廿九日為

四月廿九日為今日四月廿九日為



- 一 在江約一區因序前寫一
- 一 右有自左系始一統何步按院上
- 一 右有自甘甘以之區及人不亦
- 一 沖台二皆一

岳本龍院

本一曰快信

- 一 而及極切步均法業地
- 一 係刻在仕
- 一 序通

沖出

沖物

經但  
又區一海後有

并信

梳田武日  
長

是會

新至

- 一 而一

但沖

- 一 而一

下

全

三梅亭

青水無愁  
仙石探  
原山探  
仙石探

一 宗姓以之

金家之者

有先月廿六日... 之自... 談一...

一 明古二日... 中社卷...

作... 中社...

一 有... 中社...

中社...

古二日... 中社...

一 中社...

中社...

中社...

仙石... 荒山... 酒白... 荒山...

一 中社...

中社... 仙石...

右 中社...

一 中社...

中社... 中社...

一 沖出 沖津丸山式卷之五

一 山傳

勝馬

曆平月廿下

若日靜馬

倍百連

若意 一人 池 草履取 行披若 沓籠  
拾人内 一人 口付 沓籠

一 沖社卷之五 山式卷之五 沖通也 沖目見仕事

一 山式書院 山式卷之五 山式卷之五 山式卷之五 山式卷之五

沖通也 沖目見仕事

一 沖通也 沖目見仕事 沖通也 沖目見仕事

一 沖通也

沖通也 沖目見仕事

山式卷之五 山式卷之五 山式卷之五

一 沖通也 沖目見仕事 沖通也 沖目見仕事

沖通也 沖目見仕事

一 沖通也 沖目見仕事 沖通也 沖目見仕事

一 沖通也 沖目見仕事 沖通也 沖目見仕事

沖通也 沖目見仕事

沖通也 沖目見仕事

一 沖通也 沖目見仕事 沖通也 沖目見仕事

沖通也 沖目見仕事

沖通也 沖目見仕事

大盛會

大盛會

大盛會

大盛會

大盛會

足會以海游心也

右为法述之海味多物志自与秋以出序  
乃何之云

右及系位同序

右奥位也

右何人

古之曰世

一 俗别出仕早者海味之何津林也

经王寺

津武者

若田福馬

大藏相 津代者也

津代者也

西津殿也仕高何也

何自信也

以道能得新自出序

何人

一 津目是物也

足會以海游心也

大藏相

足會以海游心也

會系十也

足會以海游心也

右何人

足會以海游心也

右何人

一 足會以海游心也

少谷有在日

足福有在日

足福有在日

一 出列四州人

足福有在日  
足福有在日  
足福有在日

出村有在日

少谷有在日

少谷有在日

西村有在日

全及有在日

出村有在日

出村有在日

出村有在日

古四日 世

一 出列出仕早書後致仕

出仕者 西村有在日

足福有在日

大屋有在日

出仕者 西村有在日

足福有在日

出村有在日

出村有在日

出村有在日

出村有在日

出村有在日

出村有在日

出村有在日

出村有在日

一 出列有在日

昌念寺

右法明在仕也明秋...

長國在中

許光明...

在國軍...

不出身...

意亦更...

中山

中山泉...

江...

古...

何...

若...

若...

若...

若...

若...

若...

若...

若...

若...

若...

若...

月...

魯取後德

一 清月之仙道

一 清口 一 衡 長音

荒本至成造物

一 有荒本至美山創世也人之心若言物治之

一 產輝  
清光今見山無記也

長國在中

一 公冷自之也其心之國者中

書本友治

一 其心之國者中

西川至是

一 偏本村本在信也市中其信在也其  
其心之國者中其信在也其

金品十也

廿六日

一 何別出仕中其信也其心之國者中

一 其心之國者中

荒本至美

一 清月之仙道

一 其心之國者中

雲何至也

一 其心之國者中

標田軍也

一 清光今見山無記也  
清光今見山無記也

同如

右日

山信者大

山信者大

山信者大

山信者大

清光今見山無記也

清光今見山無記也





平尾山

沖目

通

温

温

温

温

温

温

温

温

温

温

温

温

温

温

温

温

温

温

温

温

温

温

温

温

温

西川

岩

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

温

温

温

且痛其不自來。且其苦中  
且其苦中。且其苦中。且其苦中。  
且其苦中。且其苦中。且其苦中。

且其苦中。且其苦中。

但其在。且其苦中。且其苦中。

一七。且其苦中。且其苦中。

且其苦中。且其苦中。

仙居在東

用句信香

若回靜島

城新九所

早川忠在焉

且其苦中

右明自公体是也

右其苦中自其苦中

中西百也

且其苦中。且其苦中。且其苦中。

且其苦中。且其苦中。

急升能究

且其苦中。且其苦中。且其苦中。  
且其苦中。且其苦中。且其苦中。  
且其苦中。且其苦中。且其苦中。

且其苦中

秋云長

移立三年后

一 沖為學法業因。花紀畫圖。三原。且其苦中。

且其苦中。且其苦中。且其苦中。

且其苦中

但其在。且其苦中。且其苦中。  
且其苦中。且其苦中。且其苦中。  
且其苦中。且其苦中。且其苦中。

且其苦中

全別院

右攝其在。且其苦中。且其苦中。

且其苦中。且其苦中。且其苦中。

古八日

一 西津殿下左系始行... 仕前系... 昔日出役...

但津用者...

一 例別出仕... 津子所...

一 津子所... 出役後...

一 关九津...

水系...

一 乃道... 津子所...

津子所...

一 津子所...

津子所...

一 津子所...

一 津子所...

一 津子所...

津子所...

一 津子所...

一 津子所...

津子所...

一

一 壹園町... 津子所...

一 津子所...

津子所...

一 津子所...

津子所...

一 津子所...

一 津子所...

工部局

右列國籍人等通令各執事  
出立此等通令等語  
以上之市場及通商口岸  
以上之市場及通商口岸  
以上之市場及通商口岸

一 死骸 一 指 一 死骸 一 指 一 死骸 一 指

信水 太平

香丹 太平

小若 太平  
小細 太平  
小細 太平

死骸 太平  
小相 太平  
小相 太平

小相 太平  
小相 太平  
小相 太平

古九日

例別出仕書

經王等

津代者

姑新九所

大廣 太平  
津代者

仙石 太平  
岩田 太平

津代者

一 需 太平

一 今日 太平

一 需 太平

一 需 太平

需 太平

需 太平

後 太平

辰 中野百物

加藤辰 丹之保台

藤原 杉之葉屋  
秋 玄長

川 中島泉屋

一 辰 中野百物 辰 中野百物 辰 中野百物

一 辰 中野百物

辰 中野百物 辰 中野百物 辰 中野百物

辰 中野百物 辰 中野百物 辰 中野百物

三月廿九日

早川忠左衛門

四月廿日

一 辰 中野百物

辰 中野百物 辰 中野百物 辰 中野百物

信田忠左衛門

辰 中野百物 辰 中野百物 辰 中野百物

右目人

辰 中野百物 辰 中野百物 辰 中野百物

一 辰 中野百物

辰 中野百物 辰 中野百物 辰 中野百物

辰 中野百物 辰 中野百物 辰 中野百物

辰 中野百物 辰 中野百物 辰 中野百物

辰 中野百物 辰 中野百物 辰 中野百物

辰 中野百物 辰 中野百物 辰 中野百物

辰 中野百物 辰 中野百物 辰 中野百物

辰 中野百物 辰 中野百物 辰 中野百物

辰 中野百物 辰 中野百物 辰 中野百物

津島神社の境内に道一様

一 田舎神社

後村神社

一 馬場

志小神社

一 日吉津島方面に各至る津島神社の境内に

志小神社

一 柳町に神社あり

津島神社の境内に

一 大瀧川沿いに神社あり

一 馬場丁小川沿いに神社あり

一 日吉津島方面に神社あり

二 日

一 津島

日吉津島

津島神社の境内に

津島神社の境内に

西山神社

右の通りには古物屋あり

津島神社の境内に

津島神社の境内に

津島神社の境内に

村山

一 津島

津島

右 津島神社の境内に

一 右の通りには古物屋あり

津島神社の境内に

西山神社

出石藩

御用部屋日記

文化十五年 四月

出石町公民館蔵

文化十五年戊寅年

日記  
酒匂藩

四月大 二百  
沖後駕

涉年一矣  
涉心一矣  
涉人  
涉物  
涉事  
涉理  
涉法  
涉道  
涉德  
涉仁  
涉義  
涉禮  
涉智  
涉勇  
涉信  
涉忠  
涉孝  
涉悌  
涉節  
涉廉  
涉恥  
涉節  
涉廉  
涉恥

火消

喧噪為傷

酒自清  
原不醉  
仙石探  
西心園  
腹即清  
是亦信  
古回忠  
依之同  
御道在  
安回物  
中為好  
國自清

為七  
伴八

山田二  
每升能



朝白

一 例刻出仕出書海及志書日課後何處  
一 票司及出仕前左系始何子  
中上無平及類

但信書志為出書日書一書一書一書

一 許子後方上高其合及海以志子

一 許用致元上日自致其致

一 許誠之也

一 先月平出語絕打大建上其  
平及後少類

一 許五致平許用

許用致元上日自致其致  
許誠之也  
先月平出語絕打大建上其  
平及後少類

一 如月一也然式本

一 如月一也然式本

一 沙途中

一 沙途中

一 沙途中

一 山田氏の墓

其父高橋清成の墓に隣りて

山田氏

高橋清成

一 今頃の墓、通津川に流すに決りたるものなるを

其の墓に在りて其の墓に在りて其の墓に在りて

一 曾い、津波等、其の墓に在りて其の墓に在りて

一切の法、其の墓に在りて其の墓に在りて

其の墓に在りて其の墓に在りて

一 山田静江の墓、其の墓に在りて其の墓に在りて

其の墓に在りて其の墓に在りて

一 舟社氏の墓

其の墓に在りて其の墓に在りて

舟社氏

舟社氏

一 舟社氏の墓、其の墓に在りて其の墓に在りて

其の墓に在りて其の墓に在りて

其の墓に在りて其の墓に在りて

舟社氏、其の墓に在りて

舟社氏

舟社氏、其の墓に在りて

舟社氏

舟社氏、其の墓に在りて

舟社氏

舟社氏、其の墓に在りて

舟社氏

舟社氏、其の墓に在りて

舟社氏

舟社氏、其の墓に在りて

舟社氏

舟社氏、其の墓に在りて

舟社氏

舟社氏、其の墓に在りて

舟社氏

折并物五三另花三曾十力  
 每田对五三另花七步  
 西三官高五另第廿六步

法升海家  
 总彼海二步  
 子川古海六

一 曹叔也制也人

曹叔也制也人

村小 女

一 依制也一切法自然也

依制也一切法自然也

但此明之福也亦每力之福也

一 依止法入心

若田静言

右明也法回日也

法也月也法也

一 法也

法也月也法也

金法也

一 法也

法也月也法也

法也月也

一 法也

法也月也法也

法也月也

一 法也

法也月也法也

法也月也

一 法也



山月村中

- 一 山月村中
- 一 山月村中
- 一 山月村中
- 一 山月村中

一七〇

- 一 山月村中

- 一 山月村中
- 一 山月村中
- 一 山月村中
- 一 山月村中

山月村中

山月村中

- 一 山月村中
- 一 山月村中
- 一 山月村中
- 一 山月村中

- 一 山月村中
- 一 山月村中

丁亥年正月

一 山小書院以傳子以書者  
以花石月時以料以  
冲道至冲道月以持  
持者乃道

山廣間  
以者士 冲道

海國

冲道  
以知以

始新

冲道  
以侍

子川

冲道  
以心

仙石

冲道

冲年

冲道  
以不

山月

冲道  
以心

山月

冲道  
以心  
冲道  
以心

冲道

冲道  
以心

山月

冲道  
以心

山月

冲道  
以心

冲道  
以心

冲道  
以心

涉國故友對以也 亦復中既為二思一二乃為

一 京師少無日 平子後 中為一曰亦為一方 亦為

一 亦為一

一 午物 海山如方 亦為一 亦為一 亦為一

一 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一

一 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一

一 亦為一

金以友威

亦為一

右少時結道亦才 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一

一 亦為一

一 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一

一 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一

一 亦為一

一 亦為一

一 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一

一 亦為一

一 亦為一

一 亦為一

金以友威

一 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一

一 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一

一 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一

一 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一 亦為一

沙上無日... 及... 及... 及...

一... 一... 一... 一... 一...

一... 一... 一... 一... 一...

一... 一... 一... 一... 一...

一... 一... 一... 一... 一...

一... 一... 一... 一... 一...

一... 一... 一... 一... 一...

一... 一... 一... 一... 一...

一... 一... 一... 一... 一...

一... 一... 一... 一... 一...

一... 一... 一... 一... 一...

一... 一... 一... 一... 一...

二十四日

改吐息

右出右長去月廿七日都急東海乃改吐息升川  
右息二日遂為仕多乃改吐息升川

二十五日

升上長

右出右長去月廿七日都急東海乃改吐息升川  
右息二日遂為仕多乃改吐息升川

二十六日

日

右出右長去月廿七日都急東海乃改吐息升川  
右息二日遂為仕多乃改吐息升川

二十七日

海升長

右出右長去月廿七日都急東海乃改吐息升川  
右息二日遂為仕多乃改吐息升川

二十八日

升上長

右出右長去月廿七日都急東海乃改吐息升川  
右息二日遂為仕多乃改吐息升川

海升長

一 當上日乃道法用者言云此世無常

西有右長平能定言秋也此言上言言右長

右長為持事言云此言上言言右長

仙石正慶言云此言上言言右長

正和正言言此言上言言右長

三月十日

海升長

西九言

此後言



二日 佳晴

一 例刻生仕

山内府 於京下 佳晴

此後御 省形物 之 出 取 可 知 之 事 也

海秋 自 以 故 上 部

荒 乃 志 著

書 及 官 款 之 付 出 物 之 後 結

合 思 應 之 始 意 也 付 出 物 之 事 也

如 此 知 之 事 也 於 京 下 部 之 後 結 之 事 也

古 田 志 著

一 海 秋 自 以 故 上 部

早 川 志 著

一 町 守 之 事

明治 廿 四 月 二 日 西 曆 廿 四 月 廿 日

右 條 之 事 通 稱 取 決 中 之 旨 也 如 此 也 例 也

後 之 事 也 中 之 旨 也 例 也

一 右 條 之 事 通 稱 取 決 中 之 旨 也 如 此 也 例 也

但 諸 令 之 事 也 如 此 也 例 也 中 之 旨 也 如 此 也 例 也

如 此 也 例 也 中 之 旨 也 如 此 也 例 也 中 之 旨 也 如 此 也 例 也

長 之 病 也 如 此 也 例 也 中 之 旨 也 如 此 也 例 也

及 俾 法 律 之 事 也 如 此 也 例 也 中 之 旨 也 如 此 也 例 也

取 書 之 事 也

古 田 志 著

一 如 此 也 例 也 中 之 旨 也 如 此 也 例 也

取 書 之 事 也

但 此 也 例 也 中 之 旨 也 如 此 也 例 也

但 勇 八 之 事 也 如 此 也 例 也 中 之 旨 也 如 此 也 例 也

但

勇 八

古 田 志 著

江表言病死也

一 許敬公... 許敬公... 許敬公... 許敬公...

太田軍曹

一 傷重... 傷重... 傷重... 傷重...

一 初日... 初日... 初日... 初日... 初日... 初日... 初日... 初日... 初日... 初日...

七物... 七物... 七物...

大敵... 大敵... 大敵...

四日... 四日... 四日...

一例... 一例... 一例...

一 要... 要... 要... 要... 要... 要... 要... 要... 要... 要...

仙石... 仙石... 仙石...

家... 家... 家...

許... 許... 許...

大... 大... 大...

許... 許... 許... 許... 許... 許... 許... 許... 許... 許...

許... 許... 許... 許... 許... 許... 許... 許... 許... 許...

許... 許... 許... 許... 許... 許... 許... 許... 許... 許...

新... 新... 新...

二日 例到出仕

一 例到出仕

一 例到出仕

仙石在系  
荒木吉著

一 例到出仕

小川忠信

一 例到出仕

一 例到出仕

一 例到出仕

一 例到出仕

一 例到出仕

一 例到出仕

一 例到出仕

一 例到出仕

一 例到出仕

熊谷守平

一 例到出仕

一 例到出仕

一 例到出仕

一 例到出仕

一 例到出仕

一 例到出仕

一 例到出仕

一 例到出仕

何如... 何如...

升上卷

何如... 升上卷

何如... 升上卷

何如... 升上卷

何如... 升上卷

一 升上卷

升上卷

升上卷

升上卷

升上卷

升上卷

升上卷

升上卷

升上卷



六日 晴

一 例に出仕

一 例に出仕 例に出仕 例に出仕 例に出仕 例に出仕

一 例に出仕 例に出仕 例に出仕 例に出仕 例に出仕

一 例に出仕 例に出仕 例に出仕 例に出仕 例に出仕

一 例に出仕

一 例に出仕 例に出仕 例に出仕 例に出仕 例に出仕

一 例に出仕

一 例に出仕

一 例に出仕 例に出仕 例に出仕 例に出仕 例に出仕

一 例に出仕

一 例に出仕

一 例に出仕

一 例に出仕

一 例に出仕 例に出仕 例に出仕 例に出仕 例に出仕

一 例に出仕

新到如委 汗用梳 避骨 纸回 志 办回 办心 时  
真上 台 志 者

何升号 号 人

右序 勘定 方 子 信 高 志 原 志 格 中 以 另 致 意 也  
何 自 在 家 之 心 何 自 信 何 自 之 心 何 自 用 何 何 自 有 矣 俟  
心 地 是 否 子 信 何 信 何 信 何 信

何升号 号 人

右以 汗 用 梳 避 骨 纸 回 志 办 回 办 心 时  
以 何 自 在 家 之 心 何 自 信 何 自 之 心 何 自 用 何 何 自 有 矣 俟

一 何 自 在 家 之 心

右 以 汗 用 梳 避 骨 纸 回 志 办 回 办 心 时

列 在 山 后 志 目 甘 化 也 何 自 信 何 自 之 心 何 自 用 何 何 自 有 矣 俟

何升号 号 人

定 律 中 之 何 自 信 何 自 之 心 何 自 用 何 何 自 有 矣 俟  
有 一 何 自 在 家 之 心 何 自 信 何 自 之 心 何 自 用 何 何 自 有 矣 俟  
何 自 在 家 之 心 何 自 信 何 自 之 心 何 自 用 何 何 自 有 矣 俟

何升号 号 人

右 以 汗 用 梳 避 骨 纸 回 志 办 回 办 心 时

一 七 何 自 在 家 之 心 何 自 信 何 自 之 心 何 自 用 何 何 自 有 矣 俟

何 自 在 家 之 心 何 自 信 何 自 之 心 何 自 用 何 何 自 有 矣 俟  
何 自 在 家 之 心 何 自 信 何 自 之 心 何 自 用 何 何 自 有 矣 俟

一 少男入生

皇朝時有少男入生  
其多矣然其能如少男之少

紫回之生

一 少年入生

少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男

古之生也

七 日

皇朝時有少男

一 少年入生  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男

一 少年入生  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男

一 少年入生

皇朝時有少男

古之生也

皇朝時有少男

一 少年入生  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男

一 少年入生  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男

一 少年入生  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男  
少年入生之少男

皇朝時有少男



一 何列生仕

一 曹行殿下何一氏面出小物産也

海島系格加多野山系中一此種  
取葉二層柱二所依而回之葉  
始達之而為柱之葉也其葉  
治合 自山由取之也

曹谷川想次

一 山行自不為年一  
是似多有用一

丹上無

一 山月入

一 山月入  
山月入  
山月入

山月入

一 山行自

山行自

丹上無

一 山行自  
山行自

橋升山

一 山行自  
山行自

山行自

一 山行自  
山行自

山行自

山行自

一 山行自

山行自

一 山行自

山行自

一 山行自

松葉之山松樹... 十年... 後

一人... 草

今夕... 中... 後

意... 誠... 誠... 誠... 誠...

山... 松... 物

少... 誠... 誠... 誠... 誠...

柳... 古... 物

少... 誠... 誠... 誠... 誠...

藏... 利... 七

一... 日... 性... 略

一... 何... 何... 何... 何...

古... 物... 物

日... 誠... 誠... 誠... 誠...

古... 物... 物

日... 誠... 誠... 誠... 誠...

古... 物... 物

日... 誠... 誠... 誠... 誠... 誠... 誠... 誠... 誠... 誠...



一 此係之物事或也之也其財若  
正色若月以

能助聖為

九日 性略

一 例刻生仕

一 大版極力明府尾江 許登心以遊

一 許得後何我回心物人自來

一 立文東市得以下以得法者真  
好任仕以許法心終者病仕那多音  
今自忘回心行也遊

古及推遊

一 立文東市得以下以得法者真  
好任仕以許法心終者病仕那多音  
今自忘回心行也遊

日人

一 產輝子也之也心回力有之有  
許也之也心行實也何身何之  
也之也後分法也也

吾世得氣

一 何處之也心行實也何身何之  
也之也後分法也也

吾心得氣

一 古日行也人自來

吾心得氣

一 心小性以遊

一 先事也熟以之也離任也事  
松平仙春也夜以醫伴之也心細  
并短也也也也也也也也也也也

竹村在是

一 心人遊

一 心人遊  
心人遊  
心人遊  
心人遊

心人遊

山陰生細後  
江戶版下波  
序

仁升十卷

丹生浦書

圓月年卷

山陰書  
山陰道志年  
序

梅角書

山陰道志年  
序

高橋書  
仁升十卷

右の白鳥書

仁升十卷  
山陰道志年  
序

山陰道志年  
序

山陰道志年  
序

山陰道志年  
序

山陰道志年  
序

山陰道志年  
序

山陰道志年  
序

山陰道志年  
序

山陰道志年  
序

山陰道志年  
序

山陰道志年  
序

山陰道志年  
序

山陰道志年  
序

山陰道志年  
序

山陰道志年  
序

山陰道志年  
序

おとよ路日 尚也

但此作は容易に改訂を終りた  
以て後には改訂はなし

右目人

右目人 此書は身内の書故に  
不承に改訂せしむ

十日 姓

一 例別出仕

一 例別出仕 何子成山内入り

一 例別出仕 何子成山内入り

仙居及系

一 例別出仕 何子成山内入り

仙居及系

一 友通 何子成山内入り

仙居及系

仙居及系

仙居及系

仙居及系

仙居及系

仙居及系

仙居及系

仙居及系

仙居及系

仙居及系

若是部女之部出園時 何有月日致中合  
おのれは 何有月日致中合  
川文致

右之部年入可引渡致者方年書  
何有月日致中合何有月日致中合

何代致

右の部升合年入可致者 何有月日致中合何有月日致中合  
何有月日致中合何有月日致中合

何代人致

何有月日致中合何有月日致中合  
何有月日致中合何有月日致中合  
何有月日致中合何有月日致中合

何有月日致

一 何有月日致

何有月日致  
何有月日致

何有月日致 何有月日致 何有月日致  
何有月日致 何有月日致 何有月日致  
何有月日致 何有月日致 何有月日致

何有月日致 何有月日致  
何有月日致

一 何有月日致

何有月日致

何有月日致 何有月日致  
何有月日致 何有月日致

何有月日致

一 詩人集

凡屬一類之詩 皆其後世自其比也 亦也  
之云云 亦其詩意之也 亦其詩意之也

詩人集

詩人集

詩人集

詩人集

詩人集

詩人集

二 詩法集

凡屬一類之詩 皆其後世自其比也 亦也

詩法集

一 詩法集 凡屬一類之詩 皆其後世自其比也 亦也  
凡屬一類之詩 皆其後世自其比也 亦也  
凡屬一類之詩 皆其後世自其比也 亦也

一 詩法集 凡屬一類之詩 皆其後世自其比也 亦也

二 詩法集 凡屬一類之詩 皆其後世自其比也 亦也

三 詩法集 凡屬一類之詩 皆其後世自其比也 亦也

四 詩法集 凡屬一類之詩 皆其後世自其比也 亦也

五 詩法集 凡屬一類之詩 皆其後世自其比也 亦也

六 詩法集

但詩法集 凡屬一類之詩 皆其後世自其比也 亦也

七 詩法集

但詩法集 凡屬一類之詩 皆其後世自其比也 亦也

一 詩法集 凡屬一類之詩 皆其後世自其比也 亦也

二 詩法集 凡屬一類之詩 皆其後世自其比也 亦也

三 詩法集 凡屬一類之詩 皆其後世自其比也 亦也

四 詩法集 凡屬一類之詩 皆其後世自其比也 亦也



十一日

一 休自 曹 履 一 句 子 或 亦 他 人 亦 未 知  
一 方 既 有 下 句 上 句 亦 出 亦 入 亦 亦 亦 亦 亦  
亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

十二日

一 物 別 出 仕 曹 履 亦 句 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

曹 履 亦 亦

亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦

十二日

一 休日 雲雨及日何、後雨止、地入、雲、

引、引、引、引

荒、本、玄、著

仙、石、石、系

一 休日 雲雨、昨日、夜、雨、

引、引、引、引

引、引、引、引

引、引、引、引

一 休日 雲雨、昨日、夜、雨、

十四日

一 休日 雲雨、昨日、夜、雨、

十五日

一 休日 雲雨、昨日、夜、雨、

一 休日 雲雨、昨日、夜、雨、

一 休日 雲雨、昨日、夜、雨、

一 休日 雲雨、昨日、夜、雨、

休日 雲雨、昨日、夜、雨、

引、引、引、引

一 休日 雲雨、昨日、夜、雨、

在法門公署門外古石西門外公署外山一帶  
口營建家以爲一也

一 柳巨林林東極繁茂之狀  
中下之古石中極高之山一峰  
又山極高之山一峰  
此爲高處

一 山

陽法極高自付上之入信  
任家山極高之山一峰  
此爲高處

一 江戶表在日九之百廿本後之別名

上之極高之山一峰  
此爲高處

一 山  
此爲高處

法門前 通津 自法門前之山一峰  
此爲高處

法門前 法門前之山一峰  
此爲高處

一 山  
此爲高處

一 山

法門前 法門前之山一峰  
此爲高處

一 江戶表在日九之百廿本後之別名

法門前 法門前之山一峰  
此爲高處

十六日 快晴

一 休日 西河原に伺ひて、河原に地蔵菩薩を祀る

一 昨日、五郎の稲刈り作業は完了し、

浅村書更

一 本屋敷十七日、午後、村中、休日の午後、

沖田、江村、佐々木、佐々木、佐々木、

十七日 西

一 向別出仕

徳久守

沖田書

向別書更

一 本屋敷より、午後、沖田、休日の午後、

沖田書更

一 有角、沖田、

有角書更

一 山内入道

嘉永二年、三月、山内、入道、

山内書更

家内、入道、山内、入道、

家内書更

一 右、山内、書更、山内、入道、

一 大屋敷、山内、

沖田、山内、山内、山内、

下院亦以村首心切也... 以年

一法郎事... 志年

涉... 涉... 涉...

一涉... 涉... 涉...

涉... 涉... 涉...

涉... 涉... 涉...

涉... 涉... 涉...

一涉... 涉... 涉...

涉... 涉... 涉...

涉... 涉... 涉...

但一產糧... 涉...

一... 涉... 涉...

一涉... 涉... 涉...

涉... 涉... 涉...

一涉... 涉... 涉...

一... 涉... 涉...

... 涉... 涉...

... 涉... 涉...

十八日 西宮在座

一 体日 西河原上河へ紙田口少嶋へ

海新上河原上河原

荒木玄蕃

少嶋又平

叔母母位福知心郷生付村体物妻  
加田三吉村名城有物道高有住知方  
取本吉家計刻紙所へ

松平康

縁取村本吉体物取田平井結取  
流公平又大能加田三吉紙所  
有日所

十九日 西

一 体日 西河原下河へ紙田口少嶋へ

一 此方吉家計陽信道紙所  
取本吉家計刻紙所

井上保吉

一 西河原

此方吉家計陽信道紙所

海新玄蕃

一 体日 西河原上河へ紙田口少嶋へ

一 此方吉家計陽信道紙所

一 此方吉家計陽信道紙所

一 此方吉家計陽信道紙所

一 此方吉家計陽信道紙所

形の如く... 大分... 山... 及...  
形の如く... 大分... 山... 及...  
形の如く... 大分... 山... 及...  
形の如く... 大分... 山... 及...  
形の如く... 大分... 山... 及...  
形の如く... 大分... 山... 及...  
形の如く... 大分... 山... 及...  
形の如く... 大分... 山... 及...  
形の如く... 大分... 山... 及...  
形の如く... 大分... 山... 及...

女白面

一 何れ仕仕 西行歌何何 民田記海人 山家

法光院梅 西行歌何何

山家

但大庭松 西行歌何何 山家

一 法光院梅 西行歌何何 山家

西行歌何何 山家

山家

山家

山家 西行歌何何

山家

一 山月軒

山月軒在... 海... 中...

在... 山... 月... 軒... 中... 有... 山... 月... 軒... 之... 名...

海... 山... 月... 軒... 之... 名... 山... 月... 軒... 之... 名...

山... 月... 軒... 之... 名...

一 山月軒

山月軒在... 海... 中... 有... 山... 月... 軒... 之... 名...

一 山月軒

山月軒在... 海... 中... 有... 山... 月... 軒... 之... 名...

山月軒在... 海... 中... 有... 山... 月... 軒... 之... 名...

山月軒在... 海... 中... 有... 山... 月... 軒... 之... 名...

山月軒在... 海... 中... 有... 山... 月... 軒... 之... 名...

山月軒在... 海... 中... 有... 山... 月... 軒... 之... 名...

山月軒在... 海... 中... 有... 山... 月... 軒... 之... 名...

山... 月... 軒... 之... 名...

山... 月... 軒... 之... 名...

一 山月軒

一 山月軒

山月軒在... 海... 中... 有... 山... 月... 軒... 之... 名...

山... 月... 軒... 之... 名...

一 山月軒

山月軒在... 海... 中... 有... 山... 月... 軒... 之... 名...





子夜歌

先有子夜歌字指白之立入松及枝伐

有也

日时 休是

石地 百年次

女二白

一 体白 西行殿下何一武白已地

古有是也 西行殿下何一武白已地

西行殿下

一 体白 西行殿下何一武白已地

西行殿下

一 体白 西行殿下何一武白已地

西行殿下

女三白

一 例刻生仕 西行殿下何一武白已地

大雲院梅許証月白

仙居

一 大雲院梅許証月白

一 大雲院梅許証月白

一 大雲院梅許証月白

仙居

但唐物有日人入京入京の事

一 乃道江 仁賢寺の法印の法印の法印

自云の法印

如く云く如く云く

山小姓但を番但し道入

但希 其の法印 其の法印

山小姓同し番入

小山成日

山小 結縁の事

立文尚以印法立初年也 情願物并成日成日成日

初年 仁賢寺の法印の法印の法印

厚く書くは 山小姓の法印 仁賢寺の法印

山小姓の法印 仁賢寺の法印

山小姓同し番入

山小姓

一 乃道江 仁賢寺の法印の法印

山小姓の法印

山小姓

山小姓の法印

山小姓

山小姓

一 乃道江 仁賢寺の法印の法印

一 乃道江 仁賢寺の法印の法印

一 乃道江 仁賢寺の法印の法印

山小姓の法印

山小姓

山小姓の法印

山小姓

山小姓の法印

山小姓

山小姓の法印

山小姓







廿四日

一 休日 西津渡に伺い、海面に小舟を遊ばす。

一 西津渡に遊ばす。西津渡に遊ばす。

之を遊ばす

（西津渡に遊ばす）

（西津渡に遊ばす）

荒木玄蕃

（西津渡に遊ばす）

廿五日

（西津渡に遊ばす）

之を遊ばす

一 西津渡に遊ばす。西津渡に遊ばす。

西津渡に遊ばす。西津渡に遊ばす。

西津渡に遊ばす。西津渡に遊ばす。

西津渡に遊ばす。西津渡に遊ばす。

西津渡に遊ばす。西津渡に遊ばす。

西津渡に遊ばす。西津渡に遊ばす。

西津渡に遊ばす。西津渡に遊ばす。

西津渡に遊ばす。西津渡に遊ばす。

西津渡に遊ばす。

廿六日

一 休日 西津渡に伺い、海面に小舟を遊ばす。

（西津渡に遊ばす）

之を遊ばす

（西津渡に遊ばす）

之を遊ばす





西川題名

丁酉年... 但私意古... 入... 但私意古... 入...

但私意古... 入...

松升... 大友...

橋井...

右... 存... 存...

存... 存... 存...

七月... 編者... 小...

香... 七...

一... 出...

中山... 中山... 中山...

共八百... 恒...

一... 体...

一... 一... 一...

涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深... 秋意渐深

一 大秋秋时... 涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深

涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深

涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深

秋九日 秋意渐深

一 休日 涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深

一 涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深

涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深

涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深

涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深

涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深

涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深

涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深

一 涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深

涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深

涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深

秋九日 秋意渐深

一 休日 涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深

涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深

涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深

一 涉秋延好也... 秋意渐深... 秋意渐深

予之此本似極其有以在也  
温家之言乃温家所任也自叙其家

杉之章信

予之此本似極其有以在也  
温家之言乃温家所任也自叙其家

总本何處  
字亦極其

右本似編涉經有惟子志月仕家乃  
予之此本似極其有以在也

仙居之系

荒尔志著

休之間書寫

右本似一日開列若升温家亦必以  
予之此本似極其有以在也

右本似一日開列若升温家亦必以

一月之日者書

右本似一日開列若升温家亦必以

一月之日者書

右本似一日開列若升温家亦必以

右本似一日開列若升温家亦必以

右本似一日開列若升温家亦必以

右本似一日開列若升温家亦必以

本高  
婦人

右本似一日開列若升温家亦必以

一 江全收... 口... 封... 口... 人...

一 卷... 口... 封... 口... 人...

海... 封... 口... 人...

出石藩

御用部屋日記

文化五年五月

出石町公民館藏

文化十五年戊寅年

於江府舊道日交遊

改元誌

作室自朱十八日

御留守

日記 堀新九郎

六月小

四十年  
 以...  
 以...  
 以...  
 以...  
 以...  
 以...  
 以...  
 以...  
 以...  
 以...

# 火消

道統...  
 道統...  
 道統...

田...  
 田...  
 田...  
 田...  
 田...  
 田...  
 田...  
 田...  
 田...  
 田...

秋...  
 秋...  
 秋...

喜...  
 喜...  
 喜...

山口快信

一 例刻出仕

一 大坂板屋町 沖田丈一 清公史 卜清公 卜清公 卜清公

入 年 南 日 以 後 夜 浪 田 井 沖 岸 氏 何 浪 田

与 通 尔 池 戶 氏 浪 田

一 日 以 後 浪 田 氏 浪 田 氏

井 子 長 氏  
山 姓 氏

一 沖 子 浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏

一 沖 城 氏 浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏

一 先 月 中 浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏

一 浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏

一 先 月 中 浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏

浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏

浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏

水 東 浪 田 氏

浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏

浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏

浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏

浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏

浪 田 氏 浪 田 氏

一 山 姓 浪 田 氏

浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏

浪 田 氏 浪 田 氏

浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏 浪 田 氏

二日 林

一 休日 一 澤原 日向 夜 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷

三日 林

一 休日 一 澤原 日向 夜 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷

四日 林

一 休日 一 澤原 日向 夜 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷

五日 林

一 休日 一 澤原 日向 夜 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷

六日 林

一 休日 一 澤原 日向 夜 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷  
 一 澤原 日向 田 小 田 川 上 谷 谷



因姓之姓後滿清書其  
亦之一字入滿清書其  
致去其字多入其日新其也

仙石友系

一 以故重以也

仙石友系

右先重也 中野之 且其長也月六日  
自以之日二之新立以英約古敵 亦其 後其  
如後一之 一之 後其 亦其 後其

中野

仙石

右重也 亦其 後其 亦其 後其  
以新 亦其 後其 亦其 後其  
亦其 後其 亦其 後其  
亦其 後其 亦其 後其

仙石 亦其 後其 亦其 後其  
亦其 後其 亦其 後其  
亦其 後其 亦其 後其  
亦其 後其 亦其 後其

仙石 亦其 後其 亦其 後其  
亦其 後其 亦其 後其  
亦其 後其 亦其 後其  
亦其 後其 亦其 後其

一 亦其 後其

亦其 後其 亦其 後其  
亦其 後其 亦其 後其  
亦其 後其 亦其 後其  
亦其 後其 亦其 後其

亦其 後其

一 亦其 後其

亦其 後其 亦其 後其  
亦其 後其 亦其 後其  
亦其 後其 亦其 後其  
亦其 後其 亦其 後其

以養子部之動及之... 係之旨何合母... 係之旨何合母...

六日

一 六半時出仕

一 津子夜台... 津子夜台...

一 山口... 山口...

一 山口... 山口...

一 山口... 山口...

一 山口... 山口...

山口...

一 本書院... 本書院...

一 本書院... 本書院...

湯...

山口...

山口...

山口...

山口...

山口...

山口...

一 山口...

山口...

山口...

一 体目

一 大板板の字付に格好の目録を  
汗体で記す

一 右の字 西字の下に洋字を  
併記する例は如何なるか

洋字の注

一 免堂院の汗体

一 忠告の汗体

仙石系

一 右の組 汗体で記す

一 一色と二色を併記する例

字の深さ

一 汗体で記す

意の深さ

一 一色と二色を併記する例

格好の注

一

一 一色と二色を併記する例

一 一色と二色を併記する例

一 一色と二色を併記する例

一 一色と二色を併記する例

一 一色と二色を併記する例

一 一色と二色を併記する例

一 一色と二色を併記する例

一 一色と二色を併記する例

一 一色と二色を併記する例

一 一色と二色を併記する例

一 一色と二色を併記する例

一 右

冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

一 大井川家之使洋船之出歸者其法皆神也

一 冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

一 冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

一 冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

一 冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

一 冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

一 冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

大江田重

一 冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

一 冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

冲夷和洋之使洋船之出歸者其法皆神也

石井新八

見よ

信田物産  
古川物産

右津島村へ送付

古川物産

増田七郎

奥州藩

品川出陣

右津島村へ送付

一月十九日 津島津三日品川出陣

津島津三日品川出陣

品川出陣

一月十九日品川出陣

品川出陣  
品川出陣

一月十九日品川出陣

品川出陣

品川出陣

品川出陣

品川出陣

品川出陣

品川出陣

品川出陣

品川出陣

品川出陣

品川出陣

品川出陣

品川出陣

品川出陣

品川出陣

品川出陣

品川出陣

品川出陣

品川出陣  
品川出陣

一 戶之者：因新有人言後被誤買則增後江道  
 一 後者大日自能也

本海道

去年西月廿八日  
 一 戶之者大日自能也  
 一 後者大日自能也

本海道  
 一 戶之者  
 一 後者大日自能也

去年西月廿八日  
 一 戶之者大日自能也  
 一 後者大日自能也

本海道  
 一 戶之者  
 一 後者大日自能也

一 戶之者大日自能也  
 一 後者大日自能也

本海道  
 一 戶之者  
 一 後者大日自能也

一 戶之者大日自能也  
 一 後者大日自能也

一 戶之者大日自能也  
 一 後者大日自能也

一 戶之者大日自能也  
 一 後者大日自能也

本海道

本海道

一 戶之者大日自能也  
 一 後者大日自能也

一 在自以序中...  
 一 大威福上...  
 一 采回...  
 一 大威福上...

七日

一 例别... 西... 何...

一 西... 何...  
 一 西...

一 一... 何...  
 一 一... 何...

一 一...

一 一... 何...  
 一 一... 何...

一 一...

一 一... 何...  
 一 一... 何...  
 一 一... 何...

一 一...

一 一...

南昌翁一物終下

移住怡怡上

小舍六門地路

後意正意終地路

移住怡

小舍六門地

後迎正意

荒牛志書

一古一厚古付中則人之心出靈應年打正續古付

如後

梅舟長卷

右款出出流月並清新在偏通行可陽安

子長

一四部年刻上

左通中付也

任列傳由記因值村百狀

仁三脚  
三脚次  
忠

右江年負筆合一後在偏大私慈之在如心  
年身一亦受筆材口一既入合感也存精之理研  
中失不審一後在如紀口一其之在如心  
管押也與任也其口存山法之在如心  
中付教年身一也其合推到一之在如心  
付之如心也其口一後在如心  
中合佳意也其口一後在如心  
入年一也其口一也





一 石上通津法号牙

蓮松院教心華貞者大姊

蓮松院法津造散来月一日付與子大弟等以上書送也

南正六日申合等下遊城入心等之書是日相出物是也

子傳等下月付與子等出物方入付不流之流不著明

而一見也一見坊之主等入付之流前即之書一也金等

入付之流等之書一也坊之主等入付之流前即之書一也金等

出月付與子等之書一也坊之主等入付之流前即之書一也金等

入付之流等之書一也坊之主等入付之流前即之書一也金等

後之書一也坊之主等入付之流前即之書一也金等

後之書一也坊之主等入付之流前即之書一也金等

小算可推前付

日一後百九段之文吳口入課文後若一併性而入

一也

右通津法号牙一也坊之主等入付之流前即之書一也金等

我之書信也信也一也坊之主等入付之流前即之書一也金等

亦只此一也坊之主等入付之流前即之書一也金等

段之書信也信也一也坊之主等入付之流前即之書一也金等

少一也坊之主等入付之流前即之書一也金等

一也坊之主等入付之流前即之書一也金等

也坊之主等入付之流前即之書一也金等

一 石上通津法号牙

西澤殿上仕信也

一 東津殿上仕信也

一 西澤殿上仕信也

一 沖月是也

一 友道所約出内廿七日

任江家使後及一氣和年若三物名

神具相涉病氣前涉在氣法出在七日為

叶先月廿八日涉通云遊者十日涉在法作

信一友道今日二二二

曹信志 十日二

鳴物志 十四日二

教生志 廿七日二

右一任取志一三二二二二二二二二二二二二二二

左一任取志一三二二二二二二二二二二二二二二

二月八日

如新九所

如約事

任取右方的後十日出附出日廿七日出人出在二

出成二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二

一 友道所約出内廿七日

一 友道所約出内廿七日

一 友道所約出内廿七日

曹信 今廿一日

鳴物 廿十日二

教生 廿十日二

右一任取志一三二二二二二二二二二二二二二二

中候信

一 友道所約出内廿七日

町上二二二二二

一 山陰縣 山陰縣 山陰縣

一 山陰縣 山陰縣 山陰縣

山陰縣 山陰縣 山陰縣

山陰縣 山陰縣 山陰縣

山陰縣 山陰縣 山陰縣

山陰縣 山陰縣 山陰縣

一 山陰縣 山陰縣 山陰縣

山陰縣 山陰縣 山陰縣

一 山陰縣 山陰縣 山陰縣

一 山陰縣 山陰縣 山陰縣

山陰縣 山陰縣 山陰縣

一 山陰縣 山陰縣 山陰縣

山陰縣 山陰縣 山陰縣

山陰縣 山陰縣 山陰縣

一 山陰縣 山陰縣 山陰縣

山陰縣 山陰縣 山陰縣

山陰縣 山陰縣 山陰縣

一 山陰縣 山陰縣 山陰縣

山陰縣 山陰縣 山陰縣

山陰縣 山陰縣 山陰縣

一 山陰縣 山陰縣 山陰縣

山陰縣 山陰縣 山陰縣

一 山陰縣 山陰縣 山陰縣

一 山陰縣 山陰縣 山陰縣

大慶梅津後中志人... 何... 何...

一 月入...

吉文... 河北... 河...

九日 收信

一 休日

西... 荒... 西...

十日 信

一 何...

西... 何... 早... 小...

右... 何...

中... 何... 何...

横... 中... 何...

一 山姓公生

其父山姓公生... 一也... 入... 山姓公生...

山姓公生

其父山姓公生... 山姓公生...

山姓公生

一 山姓公生... 山姓公生...

一 山姓公生... 山姓公生...

一 山姓公生... 山姓公生...

一 山姓公生... 山姓公生...

山姓公生

山姓公生... 山姓公生...

山姓公生

山姓公生

一 山姓公生... 山姓公生...

一 山姓公生... 山姓公生...

山姓公生

一 山姓公生... 山姓公生...

山姓公生

山姓公生

一 山姓公生... 山姓公生...

山姓公生... 山姓公生...

山姓公生

一 友南、昨日首末、敬啟者、

在紙之、中、

敬啟者、

一 友通、

末、十六日、

西、

大、

六月十一日

右、

後、

仕、

水、

十二日、

一 休日、

清、

此、

後、

自、

中、

十四日、

一 休日、

江、

敬、

涉、

做遊名 冲動之流礼首危好

伊上公并苗四日 冲金 地之氣子書文政

海元江 伊上公之印在留後并子書文政

存道

一 冲動之流礼首危好

一 冲動之流礼首危好

一 冲動之流礼首危好

一 冲動之流礼首危好

一 冲動之流礼首危好

一 冲動之流礼首危好

一 冲動之流礼首危好

一 冲動之流礼首危好

一 冲動之流礼首危好

一 冲動之流礼首危好

伊上公

伊上公

伊上公

伊上公

伊上公

伊上公

伊上公

伊上公

伊上公

伊上公

伊上公

伊上公

伊上公

伊上公

伊上公

伊上公

伊上公

伊上公



一 戶部尚書法廷前奏

六月廿日

七年秋前

法廷前奏 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

一 戶部尚書法廷前奏

十六日 休信

一 例別出仕

一 西津殿 津後津 津前 津中 津後 津前 津中 津後

荒木玄蕃

水原九郎

中務藤原

津後津前津中津後津前津中津後  
津前津中津後津前津中津後  
津後津前津中津後津前津中津後

後田仁兵衛

一 休日 十六日 西津殿 西津殿 西津殿 西津殿 西津殿

十七日 西

一 例別出仕

津後津前津中津後津前津中津後  
津前津中津後津前津中津後  
津後津前津中津後津前津中津後

浦島津

一 左之進所 右之進所 右之進所 右之進所 右之進所  
右之進所 右之進所 右之進所 右之進所 右之進所  
右之進所 右之進所 右之進所 右之進所 右之進所

津後津前津中津後津前津中津後  
津前津中津後津前津中津後  
津後津前津中津後津前津中津後  
津前津中津後津前津中津後  
津後津前津中津後津前津中津後

甲十八日四時四十分  
在江戶府

六月十七日

如新九郎

出納中

江戶府

六月十八日四時四十分

如新

同前日

如新九郎

出納中

出納中

出納中

右江戶府  
六月十八日四時四十分  
在江戶府

出納中

右江戶府  
六月十八日四時四十分

右江戶府  
六月十八日四時四十分

出納中

右江戶府  
六月十八日四時四十分

右江戶府  
六月十八日四時四十分

文終  
年号  
但夜

出納中

右江戶府  
六月十八日四時四十分

右江戶府

右江戶府  
六月十八日四時四十分

一 右様面今日お伺い申上り申前、道清家  
弟波平の御後

橋井長秀

一 右様面小書院御新仕付可申候事、  
御座候事

山内清光

一 右様面今日お伺い申上り申前、  
お心合せ申上り

十八日 陰

一 澤殿上及系始一統仕前、  
先付申上り

一 津島前、津島前、  
御座候事

一 津島前、津島前、  
御座候事

一 例別仕仕

一 津島前、津島前、  
御座候事

一 津島前、津島前、  
御座候事

警固役

一 津島前、津島前、  
御座候事

山内清光

一 山内清光

一 右様面今日お伺い申上り申前、  
お心合せ申上り

但し、  
御座候事

山内清光  
御座候事

在因涉刑錄卷上卷 清案勤 考證法

何古也後收一

一 戶部一切 詳涉刑錄卷上卷

丹上長書  
四小姓氏

今致信

云後年考文政下法元法

何古也後收一 何古也後收一

但古也付一枚家出也

四開版

四例考人出序

四小姓氏  
奧四道智

有日以

但與也考以別從行事也  
未考法元一列也  
何古也後收一

四小姓氏  
四附考人

右因以

但日以

一 想出仕一而一也後年考文政下法元法

大書院二一考也後收一

何古也後收一

云後年考文政下法元法

何古也後收一

何古也後收一

何古也後收一

何古也後收一

但年考文政下法元法

山陰縣  
町奉行

右一區町長官中納言藤原經房上後齊發  
仙傳書云云

- 一 周ノ物候ト子号申附重臣深沼系ノ物候ト
- 一 山月付ノ山陰ノ石鏡ノ印思代云
- 一 津本勤ノ涉橋云 印云山陰後地ノ山月鏡云
- 一 上ノ津月書局云
- 一 大藏梅今日津橋云云為伴ノ實津月書局津創
- 一 山月ノ道紙面云云乃道紙云

朔一好二

仙傳書  
四年

山陰人ノ  
作者云

右一區町長官中納言藤原經房上後齊發  
仙傳書云云

十九日 書好八書

- 一 休日 西津原下向ノ紙面山月酒ノ書局
- 一 山月書局

女日 好 出 書

一 剛 刻 出 仕

西 澤 殿 上 向 後 田 出 仕 戶 主 家

一 身 人 至

年 考 法 元 法 仁 堂 之 子 出 仕 入 仕 陪 者 之 下 後 是

以 道 做 佛 釋 尊 有 如 等

牛 川 右 兵 衛

一 太 殿 振 在 之 也

沖 田 清 遠 符 中 創 田 國 人 之 後 國 人

中 也

日 一 沖 田 貴 之 後 何 音 板 出 朱 之 一 通 之

一 振 之 家 又 在 法 元 之 左 之 邊 也 德 宗 公 之 後 是

沖 田 納 戶 之 戶 主 是 也 一 德 宗 公 也

沖 田 貴 之 後 一 統 其 國 傳 授 德 宗 公 之 後 是 也

沖 田 納 戶 中

沖 田 貴 之 後

但 日 清 記

右 之 也 法

仁 出 於 未 音 板 出 朱 之 一 通 之 戶 主 是 也 德 宗 公 之 後 是 也

沖 田 貴 之 後 一 統 其 國 傳 授 德 宗 公 之 後 是 也

沖 田 貴 之 後 一 統 其 國 傳 授 德 宗 公 之 後 是 也

德 宗 公

沖 田 納 戶 中

沖 田 貴 之 後

其 之 也 法 元 法 仁 堂 之 子 出 仕 入 仕 陪 者 之 下 後 是

西 川 右 兵 衛

其 之 也 法 元 法 仁 堂 之 子 出 仕 入 仕 陪 者 之 下 後 是

其 之 也 法 元 法 仁 堂 之 子 出 仕 入 仕 陪 者 之 下 後 是

其 之 也 法 元 法 仁 堂 之 子 出 仕 入 仕 陪 者 之 下 後 是

西 川 右 兵 衛

其 之 也 法 元 法 仁 堂 之 子 出 仕 入 仕 陪 者 之 下 後 是

其 之 也 法 元 法 仁 堂 之 子 出 仕 入 仕 陪 者 之 下 後 是

中 村 右 兵 衛

十一日 牧信

一 休日 西津殿上向後向東向後向東

一 江戶表六月十一日土着土使おきき

殿指す始 子 極極津棧位能 為法在部中別奈

今中東津用向月道

一 惣事仕場午世夜後十一日

一 若松不存其及采入意候

右中意一箇在日内動引中意は、申上申上

申上入陽正候事、申上申上、申上申上、申上申上、申上申上

申上申上、申上申上、申上申上、申上申上、申上申上

一 若松院梅津送候伊思子大系、二月二日津舞送同家

申上申上、申上申上、申上申上、申上申上、申上申上

申上申上、申上申上、申上申上、申上申上、申上申上

一 蓮松院梅津送候伊思子大系、二月二日津舞送同家

申上申上、申上申上、申上申上、申上申上、申上申上

申上申上、申上申上、申上申上、申上申上、申上申上

申上申上、申上申上、申上申上、申上申上、申上申上

申上申上、申上申上、申上申上、申上申上、申上申上

一 右世舞送、申上申上、申上申上、申上申上、申上申上

一 右口以伊思子大系、申上申上、申上申上、申上申上、申上申上

申上申上、申上申上、申上申上、申上申上、申上申上

一 右口以、申上申上、申上申上、申上申上、申上申上

一 山出指市、申上申上、申上申上、申上申上、申上申上

大系梅、申上申上、申上申上、申上申上、申上申上

大系梅、申上申上、申上申上、申上申上、申上申上

大系梅、申上申上、申上申上、申上申上、申上申上



一 於大急の沙功七日沙法申有及し是世處之し也

殿梅の 日香英 行代香 仁名進為物

大殿梅の 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

大急梅の 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

沖突梅の 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

乾六所梅の 水為弱 一袋之 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

大急寺の 行代香 仁名進為物 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

一 聖徳太子遺骸一件及於此其遺骸二百〇〇〇〇一袋あり

信長公御大御遺骸及後日原是為〇〇〇〇〇〇〇〇

但目心為人遺骸在梅之 此其遺骸〇〇〇〇〇〇〇〇

其の遺骸〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

一 止雲の〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

底付〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

平〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

有〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

月〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

但〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

一 大急病の〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

一 有〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

今世は人心固く... 一 貴人固く...

一 昔六日...

一 貴人固く...

一 昨世の目録に... 貴人固く... 貴人固く...

貴人固く...

貴人固く...

貴人固く... 貴人固く... 貴人固く...

貴人固く... 貴人固く... 貴人固く...

一 貴人固く...

一 貴人固く...

一 貴人固く...

貴人固く...

貴人固く... 貴人固く... 貴人固く...

治平初年松津清公 仁符等奉  
松平元名松平入一白元。書也。後之  
半公入公名。松平清公。仁符。具。中。大。書。也。  
書也。松平清公。仁符。

書也。松平。

仁符等奉

治平初年松津清公

松平元名松平入一白元。書也。後之

半公入公名。松平清公。仁符。具。中。大。書。也。

書也。松平清公。仁符。

仁符等奉

治平初年松津清公

松平元名松平入一白元。書也。後之

半公入公名。松平清公。仁符。具。中。大。書。也。

書也。松平清公。仁符。

仁符等奉

治平初年松津清公

松平元名松平入一白元。書也。後之

半公入公名。松平清公。仁符。具。中。大。書。也。

書也。松平清公。仁符。

仁符等奉

治平初年松津清公

松平元名松平入一白元。書也。後之

半公入公名。松平清公。仁符。具。中。大。書。也。

書也。松平清公。仁符。

仁符等奉

治平初年松津清公

松平元名松平入一白元。書也。後之

半公入公名。松平清公。仁符。具。中。大。書。也。

書也。松平清公。仁符。

重刊新進身仕在唯白疏去仕公仙家入心也  
事公心也

六月六日

古川市延

清文格

一 昔知何處尋家孫在信

古川市延

一 昔知何處尋家孫在信

一 昔知何處尋家孫在信

昔知何處尋家孫在信

右同人

昔知何處尋家孫在信

昔知何處尋家孫在信

一

一 昔知何處尋家孫在信

昔知何處尋家孫在信

古川市延

在字之在  
信回物是

一 昔知何處尋家孫在信

一 昔知何處尋家孫在信

一 昔知何處尋家孫在信

一 昔知何處尋家孫在信

一 昔知何處尋家孫在信

一 昔知何處尋家孫在信

一

一 昔知何處尋家孫在信

昔知何處尋家孫在信

昔知何處尋家孫在信

古川市延

一 昔知何處尋家孫在信

持余書出... 仙居... 西川... 仙居... 西川... 仙居... 西川...

西川... 仙居...

右... 仙居... 西川... 仙居... 西川... 仙居... 西川...

六月八日

仙居... 西川...

仙居...

仙居... 西川... 仙居... 西川... 仙居... 西川...

仙居... 西川... 仙居... 西川... 仙居... 西川...

廿二日 仙居...

仙居... 西川... 仙居... 西川...

西川... 仙居... 仙居... 西川...

廿二日 晴

例刻出仕 西河殿之人何故回京小細看名出

清初有以道隆上書

任名在京

一 大厥極明大四百之財出信極高高漢書

一 清屏指法 任出方出則明人上進

一 戶道法 作財出則財出

一 西河殿上進 清廷書格上進上法無後例明

西河殿書格 內河宗之入行

正法方以 任財出則財出

任財出則財出

任財出則財出

但于財出則財出

任財出則財出

一 大厥極明大四百之財出信極高高漢書

一 清屏指法 任出方出則明人上進

任財出則財出

一 戶道法 作財出則財出

任財出則財出

一 西河殿上進 清廷書格上進上法無後例明

廿四日 晴

一 休日

一 大厥極明大四百之財出信極高高漢書

一 清屏指法 任出方出則明人上進

一 戶道法 作財出則財出

任財出則財出

一 西河殿上進 清廷書格上進上法無後例明

出明人... 冲能... 有道... 但今... 冲能... 有道... 但今... 冲能... 有道...

一 四月... 西行... 冲能... 有道...

一 石... 冲能... 有道...

有... 冲能... 有道... 西行... 冲能... 有道...

一 文... 冲能... 有道...

有... 冲能... 有道... 西行... 冲能... 有道...

冲能... 有道...

有... 冲能... 有道... 西行... 冲能... 有道...

一 冲能... 有道... 西行... 冲能... 有道...

退... 冲能... 有道... 西行... 冲能... 有道...

冲能... 有道... 西行... 冲能... 有道... 退... 冲能... 有道... 西行... 冲能... 有道...

冲能... 有道...

一 体... 冲能... 有道... 西行... 冲能... 有道...

冲能... 有道...

冲能... 有道...

冲能... 有道...

冲能... 有道...

冲能... 有道...

冲能... 有道...

道公到... 且... 山...

有人

廿六日 佳佳

一 休日 西... 何...

一 官... 与... 六...

一 殿... 梅... 枝... 花...

此... 年...

他... 也...

廿七日 佳佳

一 何... 出... 仕... 西... 何...

后... 原... 有... 仕... 之... 存

早川... 忠... 焉

右 大... 殿... 梅... 在... 出... 仕... 之... 存

產... 梅... 花... 之... 出... 仕... 之... 存

友... 以... 治... 焉

浙... 之... 也...

梅... 丹... 史... 焉

大... 殿... 梅... 花... 之... 出... 仕... 之... 存



廿八日 候

一 休日 西陣殿上為着日沙夜後在系路一統了也  
今日志蓮松院梅沙物月忘言故日也梅松院  
只身難免也付仕出以音出例也  
仕出付不仕出

西陣殿上出向者仕

仕右江系  
松新九所

講新之旨以道能也序

落本云云

西陣殿上出向者仕  
出向者仕

平川右系

清用一及多日唯廿九日也附

松丹出左

仕仕後云云  
右以以云云

大友系

廿九日 候

一 例刻仕仕 西陣殿上何夜出仕細也

清候之旨

河白信

西陣殿上出仕之旨  
大層板 清用一 清用一

仕右江系

梅梅之旨以道能也序

酒白信

組

松丹出左

右殿道云 仕仕後云云

大友系

中法家名目係列仕仕後云云

松丹出左

冲年号

酒白清色  
早川忠房

右 冲入江料理部 是江左府 有明部 是部  
於冲用部 在冲用部 是部

此物是江左府 有明部 是部

此物是江左府

松田年史

松田年史

此物是江左府

林氏海内

有明部

冲入江料理部

冲入江料理部

冲入江料理部

冲入江料理部

冲入江料理部

冲入江料理部

冲入江料理部

冲入江料理部

冲入江料理部

右明部 日後 冲料理部 是部 有明部 是部  
波年

但冲在城 道是江左府 有明部 是部

冲在城 道是江左府 有明部 是部

冲入江料理部

冲入江料理部

冲入江料理部

冲入江料理部

冲入江料理部 是部 有明部 是部

冲入江料理部

一 沖入部山科 尾家 下 古 真 曆 一 少 少 人 尤 明 錄 日  
為 山 科 山 科 山 科

一 山 科 山 科

沖入部山科 尾家 下 古 真 曆 一 少 少 人 尤 明 錄 日  
為 山 科 山 科 山 科

山 科 山 科 山 科  
山 科 山 科 山 科  
山 科 山 科 山 科

二 古 真 曆 一 少 少 人 尤 明 錄 日  
為 山 科 山 科 山 科

山 科 山 科 山 科

古 真 曆 一 少 少 人 尤 明 錄 日  
為 山 科 山 科 山 科

山 科 山 科 山 科

古 真 曆 一 少 少 人 尤 明 錄 日  
為 山 科 山 科 山 科

古 真 曆 一 少 少 人 尤 明 錄 日  
為 山 科 山 科 山 科

山 科 山 科 山 科

古 真 曆 一 少 少 人 尤 明 錄 日  
為 山 科 山 科 山 科

山 科 山 科 山 科

一 山 科 山 科 山 科 山 科

古 真 曆 一 少 少 人 尤 明 錄 日  
為 山 科 山 科 山 科